てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
24
まんが 山本サトシ
シナリオ 日下秀憲
©2007 Pokémon
©1995-2007 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK Inc.
てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
24
日下秀憲 山本サトシ
小学館
TCS-0318

## 作者のことば

### 山本サトシ YAMAMOTO Satoshi

●やまもと さとし

欠点を多く抱えた人物を描くのが好きなボク。この章を描きはじめてしばらく、屈託がなく前向きで元気なレッドは、近寄りがたいキャラでした。でも、24巻幕開けの大惨敗と苦悩を描いたことで、ようやくレッドという人間と仲良くなれたような気がしています。読者のみんなにも同じように感じてもらえればうれしいです。

### 日下秀憲 KUSAKA Hidenori

●くさか ひでのり

'06年はレンジャーにD·P、BRと、ポケモンファンには息つくひまもないほどうれしい新作ラッシュの年でした。ハード面でもDS大ヒットとWii発売。GB時代から考えると本当にゲームの進歩はすさまじいです。一方、まんが作品であるポケモンSPは連載開始からほとんどフォーマットの変化なし。ううむ。まんがはゲームと違ってドーンと容量を増やしたり操作性を変化させたりはできないから…とにかく内容で勝負って思ってます!!

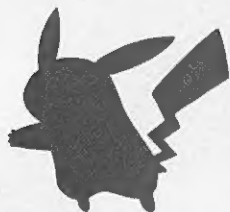
>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by MARUYAMA Tomomi (grafio)

てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
24
まんが
山本サトシ
シナリオ
日下秀憲
©2007 Pokémon
©1995-2007 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.

24
Art Satoshi Yamamoto
Story Hidenori Kusaka
FIRE RED
LEAF GREEN
POCKET MONSTERS SPECIAL

S SPECIAL OBJECT
歴代ポケモン図鑑所有者たちとその活躍
カントー地方
レッド
イエロー
ブルー
グリーン
【第1章】
マサラタウンの少年・レッドはオーキド博士から受けとったポケモン図鑑を手に、ポケモントレーナーの頂点を目指し旅立つ。同じ目的のライバル・グリーンとのバトル、少女・ブルーとの出会い、ロケット団との死闘を経験して、レッドはポケモンリーグでの優勝を果たす。
【第2章】
2年後。突如レッドが失踪する事件で騒然とするオーキド研究所に、謎のトレーナー・イエローがやってきた。レッドの消息を追うイエローの前に、ワタルを頂点とする力
オーキド博士

ント一四天王が立ちはだかる。スオウ島での決戦の末、イエローはカントー四天王の野望をくいとめた。

【第3章】

さらに1年後、ワカバタウンのポケモン屋敷で暮らすゴールドは、ウツギ研究所からワニノコを盗み出したシルバーを追って旅に出る。反目しあいながらも、やがて共闘することになるふたり。オーキド博士からポケモン図鑑完成の依頼を受けたクリスも合流し、R団残党を率いて暗躍する仮面の男の謀略をついに打ち砕いた。

【第4章】

ポケモンコンテストに情熱を燃やす少年・ルビーは、引っ越し先・ミシロタウンの新居を家出する。道中、野生児のサファイアと出会い「コンテスト全制覇」「全ジム戦制覇」をかけて80日間の冒険

S SPECIAL OBJECT
カントー地方
レッド
ブルー
グリーン
サファイア
ルビー
競争がはじまる。その頃ホウエン地方では、アクア団とマグマ団による征服計画が進んでいた。その結果目ざめたグラードンとカイオーガにより、ホウエンは壊滅状態に陥る。が、ルビーとサファイアの決死の戦いにより、2匹はまた深い眠りへと落ちていった。
【第5章】
それから半年。オーキド博士とブルーの両親が姿を消す中、ナナシマへ渡ったレッドとグリーン。謎の敵との決戦に備え、キワメのもと究極技を習得した。謎の敵の正体はデオキシス。事件の背後にはR団が。デオキシスの必殺技を真正面から浴びたレッドは…!?

# POCKET MONSTERS SPECIAL 24

もくじ



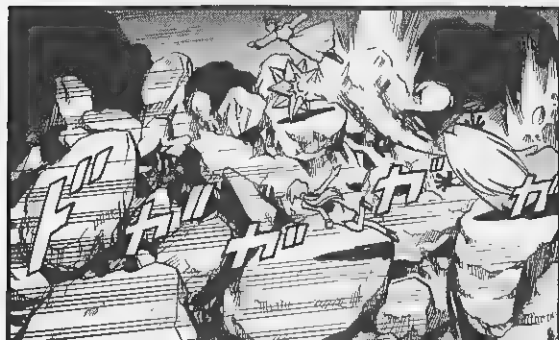
FIRE RED LEAF GREEN

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

ブオァァァァ
だっ
レッドオオオッ!!

7の島

!!
あの光は5の島の方角!
いったいどんな戦いが……!?
よそ見をしている場合か!?
うっ…く!!
ロケット団め!!
このカンナ、故郷ナナシマで勝手なことはさせない!!
ドォン!!
無意味な襲撃はやめて、
さっさと出ていけ!!

さすが、
カントーで最強のトレーナー集団
四天王を名乗るだけのことはある。
おかげで思っていた以上に
長めの戦いになってしまった。

フフ。でも
こんなことも
あろうかと
おまえが来る前に、
あるしかけを
しておいた。
しかけ…だと!?

……そう
開けて
おいたのさ。
アスカナの
鍵を。

アスカナの鍵を
開けた……!?
ということは、
七つの石室が…。
そう。
このナナシマの
古代遺跡と
されてきた、
7の島沖に
浮かぶ
七つの石の部屋。

オリフの石室、
アヌザの石室、
コトーの石室、
アレボカの石室、
ユゴの石室、
ナザンの石室、
イレスの石室。
何人も立ち入れず、中に何がひそんでいるのかわからない謎の場所……。
そこにかけられていた封印を、
我らが、
解いた!!

!!!…
きゃあっ!!
ヤ、ヤドキング!!

大昔から謎とされてきた、あのアスカナの鍵をいとも簡単に破る者がいたなんて…！
…だけど、ここで引くわけにいかないわ。
パルシェン!!
一気に迎撃よ!!!
"とげキャノン"!!!

おっと!
フフッ、すごいな。
どう?
降伏する気になった?
…いや、全然。
なぜならすでに……。
チェックメイトは完了しているのだから。
ギャカカ!!

これは
スターミーの核!?
いつの間に!!

パルシェン
殻を閉じて!!

…ほ、

〝ほごしょく〟…。

そう…、フフ
よくわかったな。

おまえと戦う時
一番の難敵は
パルシェン。

…あれだけのアンノーンを使いなが…ら…、
すべ…て…
…おとり…。
…卑怯…、
…な。

卑怯。
フフ、我らロケット団にとっては最高のほめ言葉だな。

首領、
そちらはどうですか？

今、石の磨きこみが終わったところ

おまえたちが時間をかせいでくれたおかげだ。

すまなかったな、サキ。

いいえ、むしろ楽しませてもらいました。

フフ。

5の島のチャクラも順調そのもの。

ステキです。今すぐそちらに取りに行ってもよろしいですか？
もちろん。

ハァ
ハァ
ハァ

1の島

!!!

ここにいたぞーっ!!
ナナシマが襲われている元凶の少女だーーっ!!

追えっ!!
捕まえろ!!

ハァ
ハァ
ハァ

ハァ、ハァ、もう逃げられねえぞ。
ハァ
ハァ
ハァ
あわわ!
おおおおお!!

ぶ、ぶつかる――!!
つかまれぇい!!
あ!!
逃がさねえ!!
そうだ!!

きゃあっ!!
ぬおおっ!!
いたい いたい!!
ぐぬぬぬ!!
ぐわっ!!
何しやがるてめえ!!
早く!!
ブルーさん!! 逃げて!!
むむむ!!
ま、待てっ!!

バシャッとはじけ!!水勢の力!!
これをっ!!
ぶぁぶ!!
がばば!
ビッ
ありがとうっ!!
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

む!?

あれはシーギャロップ号。

5の島へ向かってる。

降下だ。

グリーン!!
…ッ。

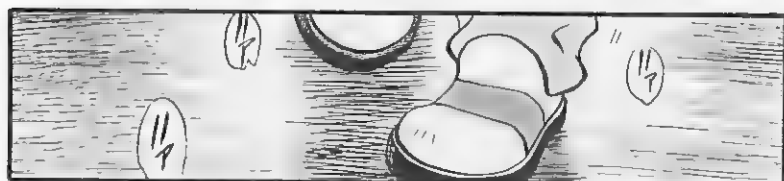
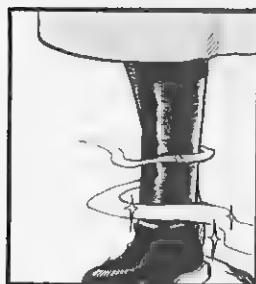
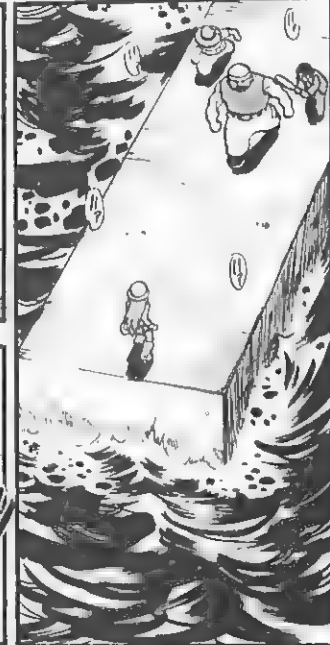
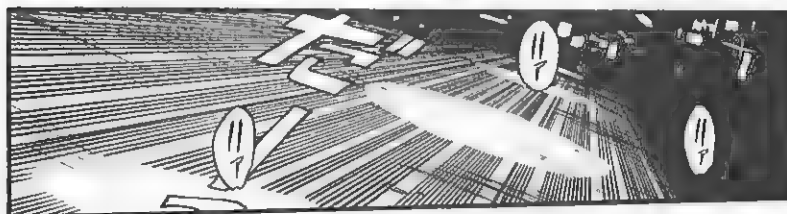
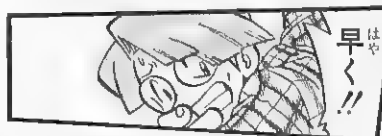
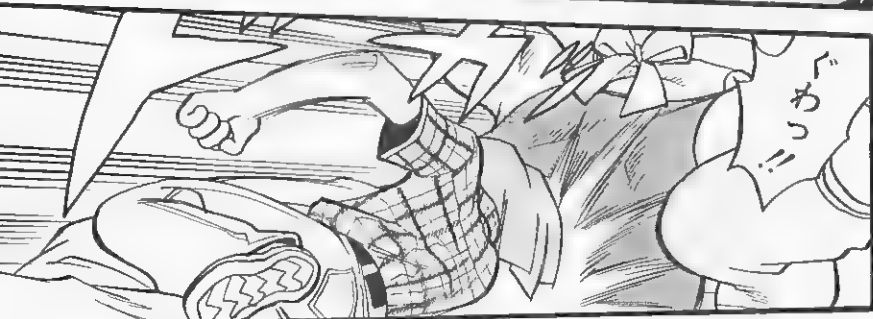
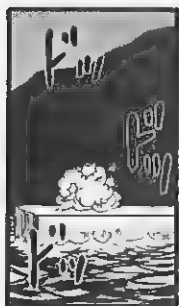
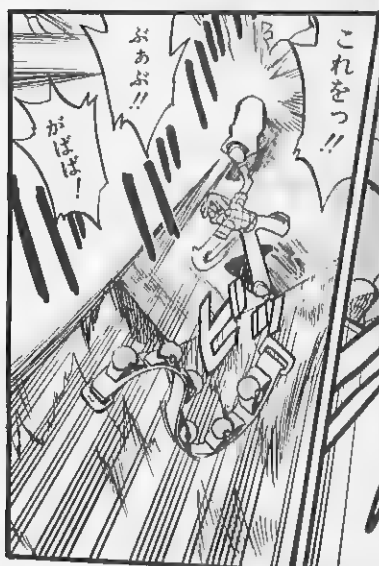
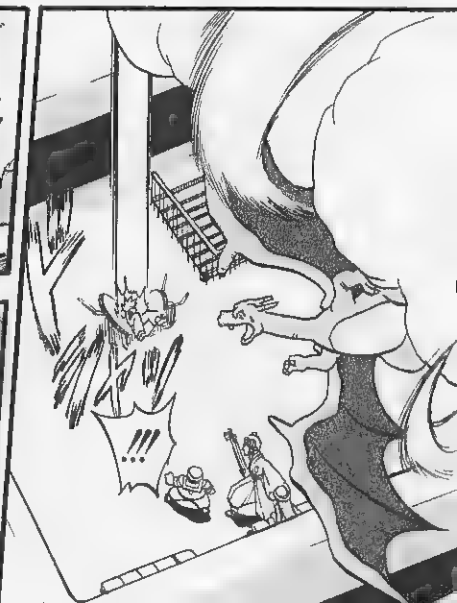
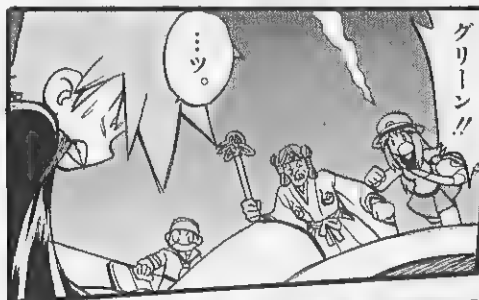
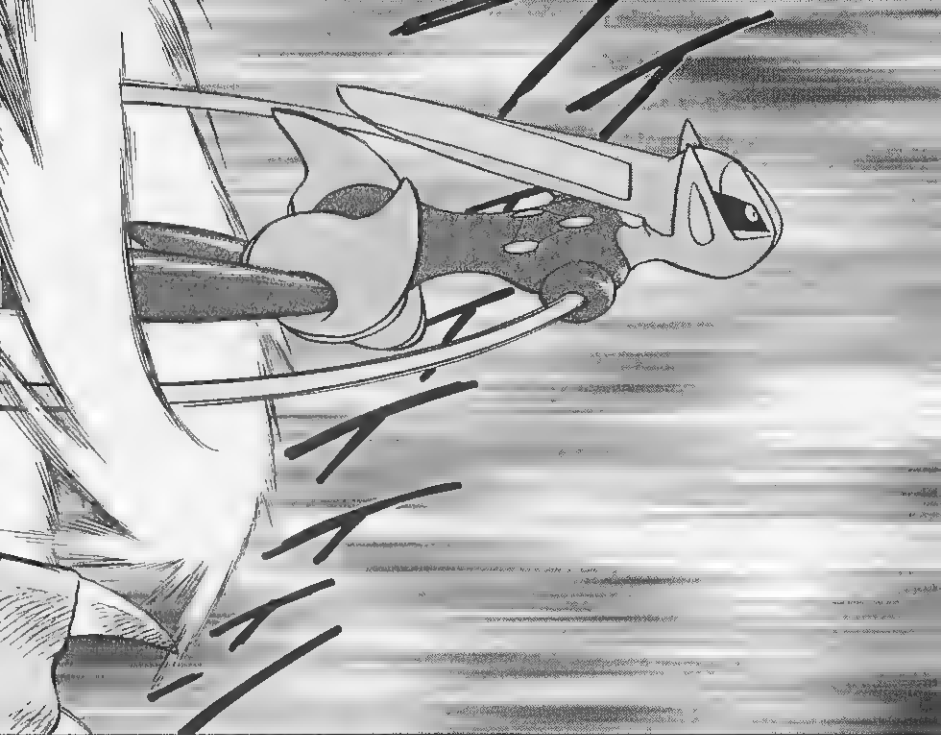
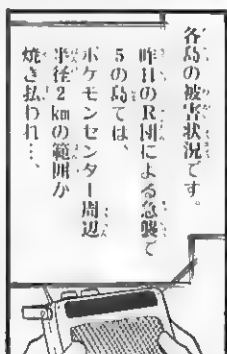
今のは…、また別の姿…!

…!!!

ぬおっ!!

グリーン…。
ブルーも来てくれたのか…。
………。
戦ったのか？あのポケモンと。
…でも、
力が…足りなかった。
負けたんだ。
オレたちは。

# キワメ KIWAME

●出身地：2の島・きわの岬
●誕生日：2月2日
●血液型：B型
●職業　：究極技伝承
●趣味　：特訓用の廊下の仕掛けを考えること。観光旅行。
●家族　：かつては結婚していたらしいが…。

2の島で究極技奥義を守っている老婆。究極技は草・水・炎があり、それぞれ"ハードプラント""ハイドロカノン""ブラストバーン"と名づけられている。キワメは、これまでも修得希望者の実力を鑑定、それを認めた場合に技を授けてきた。また、素質ありと感じたトレーナーには、自ら特訓を行うことも。技の奥義は特殊な「輪」の中に封じこまれており、そこから引き出す形でポケモンに習得させる。ちなみに、古より存在していた「輪」の仕組みは近代、技マシンや秘伝マシン開発の原型となったと言われている。

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

パチ
パチ

各島の被害状況です。
昨日のR団による急襲で5の島では、ポケモンセンター周辺半径2kmの範囲が焼き払われ…、

同じく6の島、7の島では……。
……………。
つまりこういうことだな、マサキ……。

現状、
4つの形態が確認
されている……。

あんとき…、すでにこっちは全滅に近い状態…。

観察終了…。

相手の必殺技をまともに受けた直後やった。

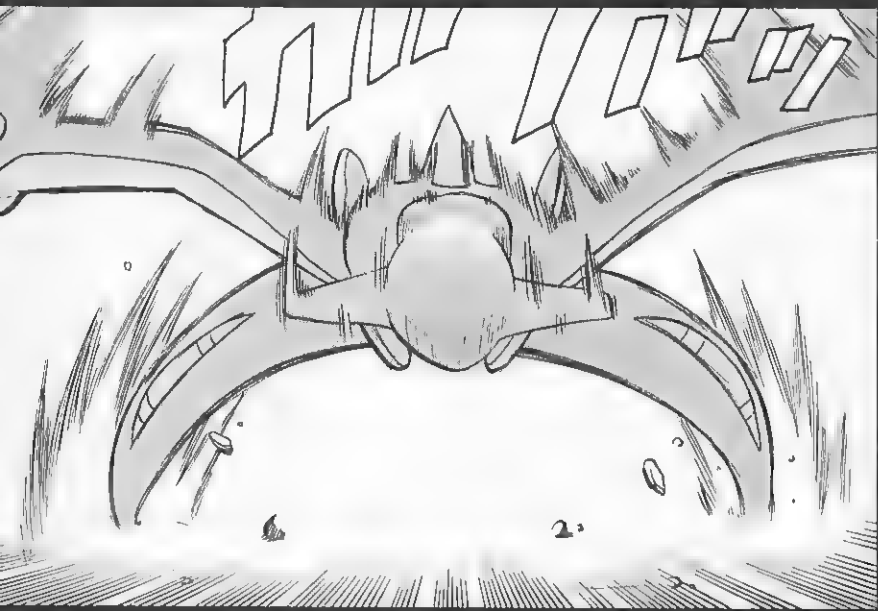
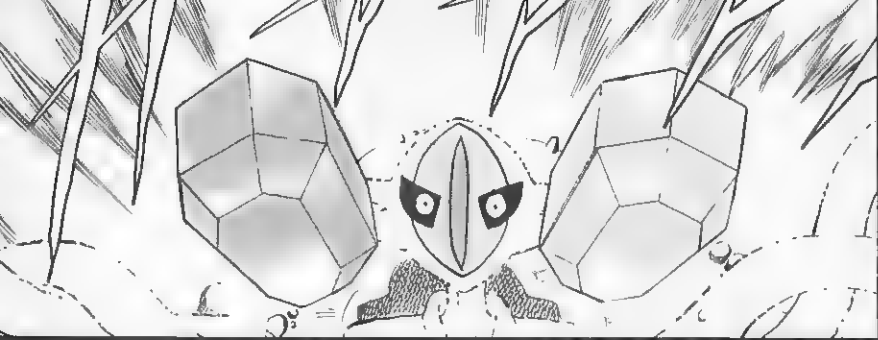
そこへあいつがやってきた。

7の島でカンナと戦っていたはずの、

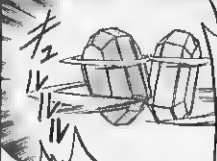
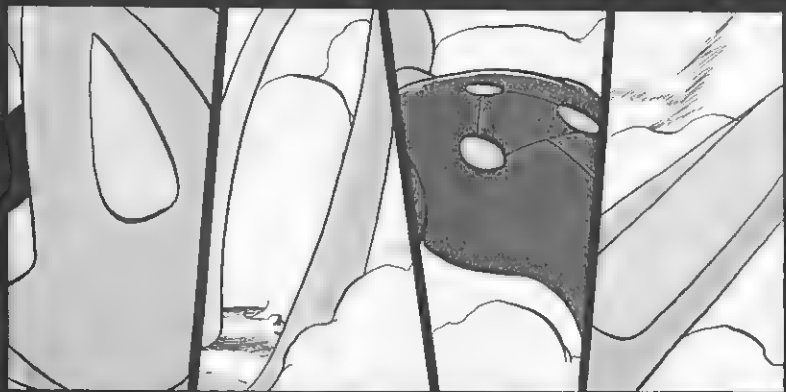
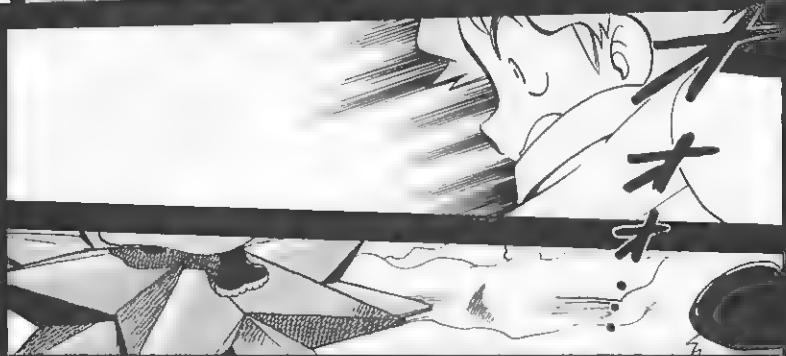
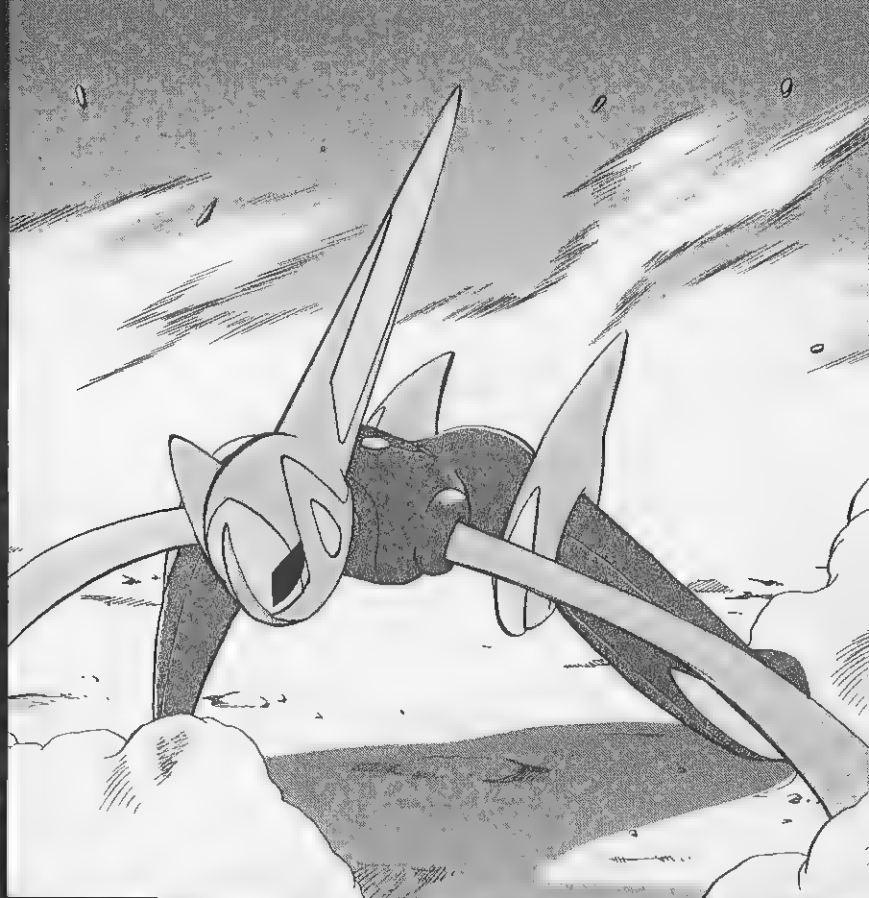
…三獣士、サキが……!!

残りの
形態とも。
7の島へ帰る
のはそれからだ。

!!!?

シュウウウ

いいぞ！ノーマルフォルムが一気に完全な姿を現した！
おお〜
フンフフフフ。
赤と青の2つの石!!
その名は「ルビー」と「サファイア」!!!
その力によって出現せしホウエンの風土よ!!
デオキシスのさらなる新形態第4のフォルムを呼び起こすのだ!!
ギュルルルル

スオ
オオオ…

キッ

成功だ!! 極限まで「すばやさ」に特化したフォルムチェンジ、
スピードフォルム!!

5の島でのレッド対チャクラ、6の島でのグリーン対オウカ、7の島でのカンナ対サキ、勝利できたのはグリーンだけ。

こんな戦況の中でさらに変身する敵になんて勝てんのかよ〜〜。

そう悲観したものじゃない。

攻撃にすぐれた敵、防御にすぐれた敵、すばやさにすぐれた敵が一度に襲ってきたと思えばよくある話。

やつらはおそらく7の島のアジトに戻ったのだろう。カンナのことは心配だが、捜索や再戦をするにしても明るい方が安全だ。

朝になったら7の島に乗りこむぞ、レッド!!

おい、どうしたんだ！レッド！


そんなに悲観したもんじゃない…だって…？
気楽に言ってくれるよな…、グリーン。


どういう意味だ？
戦ってないヤツはなんだって言えるって意味だよ!!
なんだと!?

苦戦したのはわかる! だが、それはレッド…。おまえ1人で戦ったからだろう? だから今度はみんなで…と言ってるんだ!!

同じだよ!!

わかるんだ! オレたち全員で挑んだって…、

デオキシスには勝てない!! 犠牲者が増えるばかりなんだよ!!

いつから…そんなおくびょう者になったんだ?

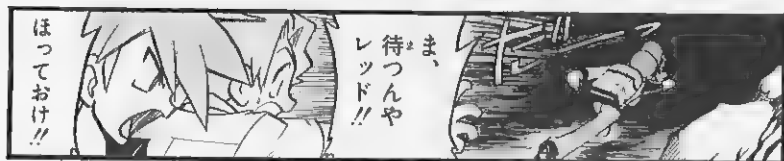
なんとでも言ってくれ…。

オレはおくびょう者だ。

フフ…、だから…、
ポケモン図鑑も取り上げられてしまったのかもしれないな…。
!!!…

図鑑と一緒に
オレ自身という存在も
なくなってしまった
気がしたよ。

博士はきっと
それに気づいていたんだ。

オレがもう
「図鑑を持つ資格の
ないトレーナー」
だってな!!!

1つわかった事実がある。
レッドが「図鑑を取り上げた」とわめいていた相手、
オーキド博士はロケット団に捕えられている!!

しかし
この5の島にある
我らがR団倉庫で、

まだいろいろと
…フフ…、
やることがある。

ギロッ
ギュオオオオオ
オオオオオ

やはりここか。

首領、こちらサキ。
ピッ

デオキシスは一度戻ったようです。
「誕生の島」へ。
パッ

パッ
キイイン

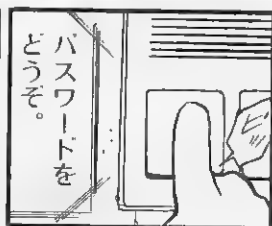
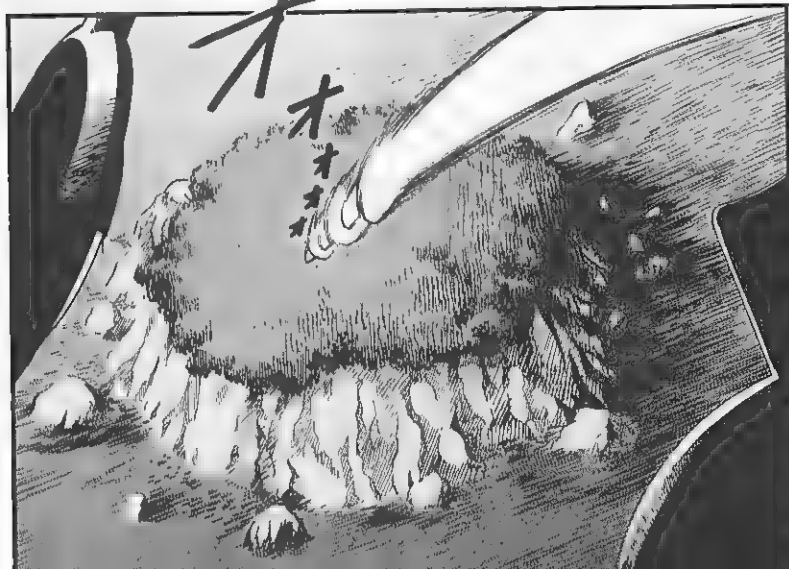
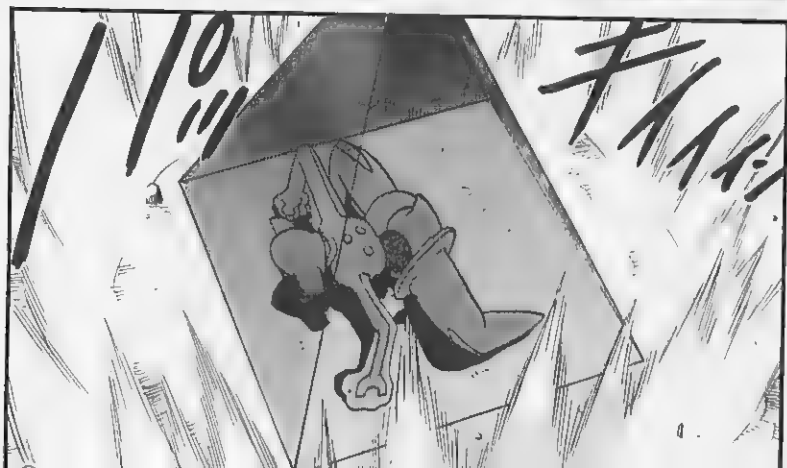
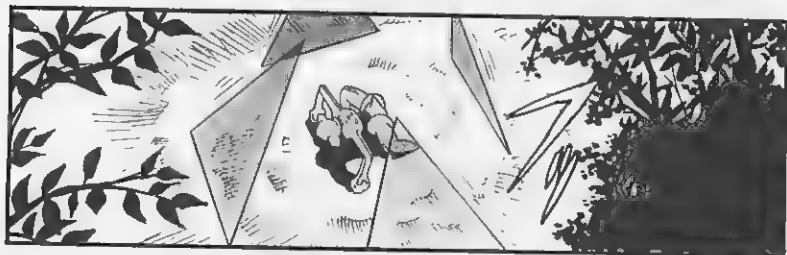
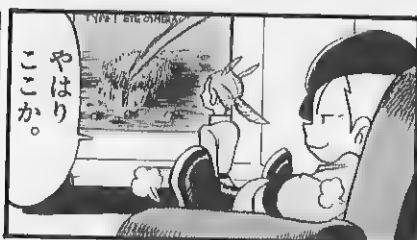
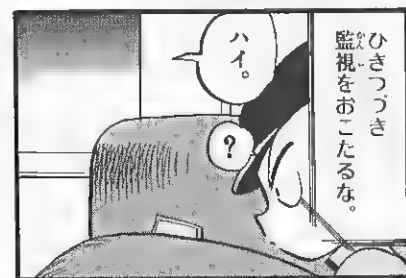
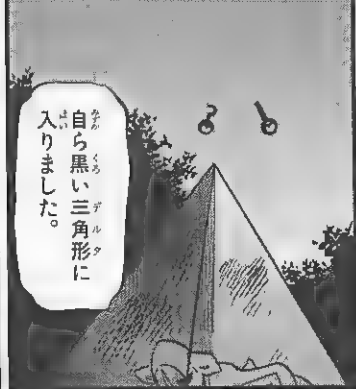
自ら黒い三角形に入りました。

たぶん、疲れをいやすつもりじゃん。
レッドに勝ったとはいえ、1度"かみなり"の直撃を胸の水晶体に受けてバラバラになったじゃん。

デオキシスもそうとうのダメージを受けてるはずですから。
そうか。

では、しばらくはそのままだな。
ごくろうだったサキ、チャクラ。

ひきつづき監視をおこたるな。
ハイ。
?

こんなところに写真?
誰が落としたんじゃん?
!!

この人は若いけど首領じゃん。
…じゃあ、

この抱いている、
赤い髪の子どもは?

もうすぐだ。
もうすぐ会える。

我が息子よ。

# ブルー BLUE

●出身地：マサラタウン
●誕生日：6月1日
●血液型：B型
●年齢：16歳（第5章現在）
●賞歴：第9回ポケモンリーグ3位入賞
●特技：変装、メカの改造・開発など
●知識：ポケモンの「進化」に関する知識がとくに深い
●趣味：アクセサリー（とくにピアス）やかわいい靴集め

幼少時に仮面の男に連れさられ「マスクド・チルドレン」として育てられた少女。修行の地を脱走後、レッド、グリーンと出会い、マサラのトレーナーとして多くの事件にともに挑んだ。修行時代に行動をともにしていたシルバーとは、今も強い絆で結ばれ姉弟のような関係。戦いでは綿密な調査とトリッキーな作戦を駆使し敵をほんろうする。明るくちゃっかりした性格だが、現在は目の前で両親をデオキシスにさらわれてしまったことで、心に深いダメージを受けている。

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

この写真…。

若いころの首領が抱いている赤い髪の子どもは…。

…まさか首領の息子!?

さあ行こう。

デオキシスの眠る誕生の島へ!!

5の島

うっ…!!

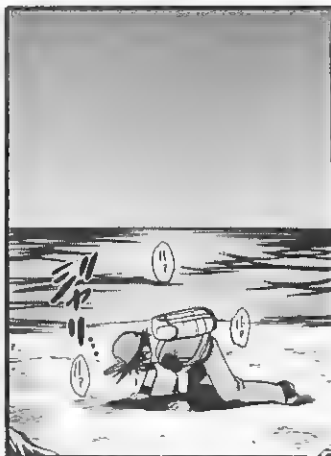
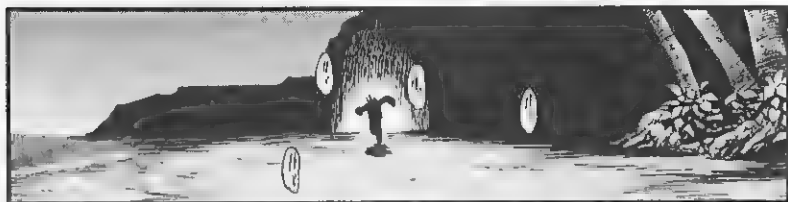
……ごめ…ん…。

ジャリ…

ごめんな
プテ…。
翼…、
つらぬかれて
痛かったろうな?
ゴンもギャラも
オレの盾に
させて…。
ニョロ、フッシー、
あんな激しい
攻撃の中で
苦しかったろう?
ごめんな、
みんな…。
本当に…、
本当に…。
…ピカ。
一番がんばって…
一度は相手の体を
撃ち抜くほどの
"かみなり"を
当ててくれた
おまえだったのに…、
オレのせいで
こんなに傷だらけに
させちゃって…。

許してくれ！
オレを…、許してくれ!!

…ブルー…か。
オレを責めたてるために追いかけてきたのか？
戦いを投げ出したオレを…。

お礼を言いに来たのよ。
ありがとう、レッド。

グリーンやキワメおばあさんから聞いたわ。
アタシが目の前で両親を失って…倒れて…、
レッドはそんなアタシを思って、戦いに立ち上がってくれたって…。

新しい「究極技」の伝承を受けて、
自分の身をかえりみず強敵に立ち向かってくれたって…。

戦う！どんなことがあっても！
友だちがあれほどつらい目にあったんだ、戦う理由としては十分だ！
知っていることすべてに答えろオオオ!!

ザッ

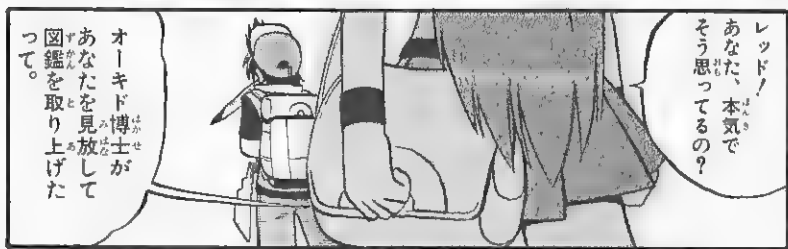
ああ、たしかにそうだった…。でも、そんな思いの結果がこのザマだ。
ブルーの両親の行方もつきとめられず、島への攻撃も止められず、仲間であるポケモンたちもボロボロにして…。

図鑑を持つ資格を失ったぶざまなトレーナーの姿だ。

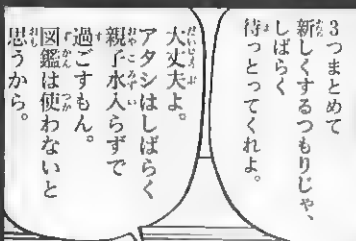
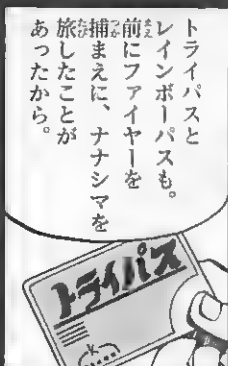
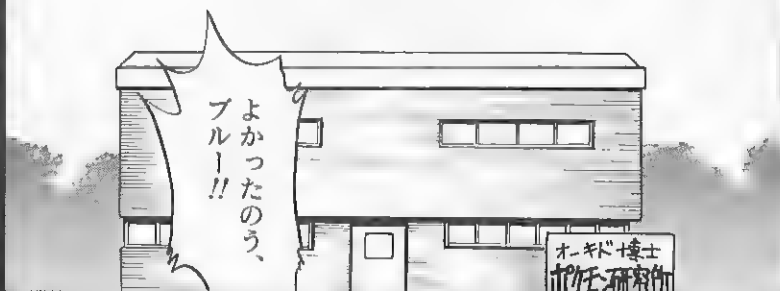
どこへ?

オレのせいでナナシマが攻撃を受けてしまった。だから出ていくんだ。
図鑑所有者でもないオレにできることなんて何もないからな。

レッド! あなた、本気でそう思ってるの?
オーキド博士があなたを見放して図鑑を取り上げたって。

ああ、思ってる。
だったら、それはちがうわ。
オーキド博士はアタシにハッキリこう言ったわ。
「レッド・グリーン・ブルーから、いったん図鑑を返してもらう。…じゃが…」。

それは図鑑をバージョンアップさせるためじゃ。
まだ見ぬ地域にデータを対応させた全国版ポケモン図鑑にな!!
……バージョンアップ…!?
全国版!?
レッドとグリーンがマサラに戻ってきたその前の日、アタシも研究所に寄ったっていうのは知ってるよね。
その日のこと話すね。
アタシはパパとママに会えることになり、
そのことをオーキド博士に報告に行ったの。

よかったのう、ブルー!!
オーキド博士
ポケモン研究所
しかし…、どこのお嬢さんかと見ちがえたぞ！よう似合っとる!!
うふ、ありがと。
ご両親との待ち合わせは1の島じゃったな。パスは…、
ハイ、もう持ってます。
トライパスとレインボーパスも。前にファイヤーを捕まえに、ナナシマを旅したことがあったから。
トライパス
そうそう、あとコレ…。
おお、忘れず持ってきてくれたかポケモン図鑑。
3つまとめて新しくするつもりじゃ、しばらく待っとってくれよ。
大丈夫よ。アタシはしばらく親子水入らずで過ごすもん。図鑑は使わないと思うから。
明日、レッドとグリーンも来るから、ヤツらからも回収せんとな。
そうか、ワハハハハ!!

オーキド博士
ポケモン
よかった。
本当によかったな、ブルー。
さて、と
さっそく図鑑のバージョンアップを…、
ん?
コロコロ…
うわっ!!
な、なんじゃ!!

見つけたんだなー。
特別なトレーナーたちの冒険の記録、ポケモンバトルの記録がつめこまれた夢の箱なんだなー。
博士、あなたが所有者たちからいったん回収するらしいとの情報は正しかったんだな。
プカ
プカ
それが有名なポケモン図鑑なんだなー。
誰じゃ、おまえは!?
ゲシゲシ、図鑑を渡すんだな。
REC
カチッ
いただいていくんだな。

渡すな、ガルっちオニっち!!!
オデはR団獣士オウカ！
抵抗してもムダなんだなー。
ギギギギ

さて…
あれ？
図鑑はたしか
3機あると
聞いたんだな。
残り2機は
どこなんだな。
言うんだな
ゲシゲシ。
グイ
あ、あと2人の
所有者、は明日
ここに…来る。
そのとき…、
回収する
つもり…だ…。
そうだった
のか、
ふうむ、
どうしよう
かな。
……。
よし…、
こうしておけ
なんだな。
1つめ、
その2人からも
図鑑が取り上げ
られるように
メッセージを
残しておく。
2つめ、
マサラの
図鑑所有者たち
全員をナナシマに
おびき寄せるように
なんらか
しむけておく。
できる？
オーキド
博士に。
わ…わかった。

……!!

図鑑所有者たちよ
よく聞きなさい。
…わしは今…、
おまえたちから
ポケモン図鑑を
取り上げる!!

わしの机の
パソコンが
「どうぐあずかり
システム」と
つながっている。
そこに
おまえたちの
ポケモン図鑑を
置くのだ。

…オレとグリーンの
ボイスチェッカーに
こんな録音が
入っていたのは
そういう理由が…。
うん、そしてそのまま
連れていかれた
んだと思う。
ただ、敵の…、
R団の唯一のミスは、
アタシあての
ボイスチェッカーに、
博士とオウカの
やりとりがすべて
録音されていたのに
気づかなかったことね。
T. BLUE
オレはR団、
幹部のオウカ……
……
わかった
いうとおりに
……する。

……。

レッド…あなたの考えていること、…たぶんわかる。

ここまでの事情を知って、なぜ図鑑を取り上げられたのか本当の理由がわかったところで…、

あのデオキシスに対抗できる力がない!!…っていう現実は変わらない。

そう思ってるよね?

アタシは戦うわ!!
ブルー、それは…!!
と―― とっとっと。
コラコラーッ!!
なーんか引っぱられると思ったら、輪を持ってってたのか――い!!
まったくいつの間にどうやって盗ったんだか…!
こんなことはじめてじゃ
ホホ。
受けるのか!? キワメおばあさんの奥義の伝承を!!
ガバッ!!
どうして驚くの？

おばあさんにアタシのカメちゃんが伝承にふさわしいって推せんしてくれたのはレッドでしょう?
だから、必ず修得するわよ!「水」の究極技、
〝ハイドロカノン〟!!
両親との再会はね…、
!
ピョン
にゅっ
アタシ自身の運命の決着なの…。
ブルー!
デオキシスは恐ろしい力を持っているんだ!!
究極技だって効か
言わないで、レッド!!
アタシ…自身の!!

じゃり..

コァー

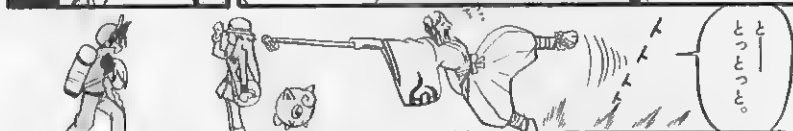
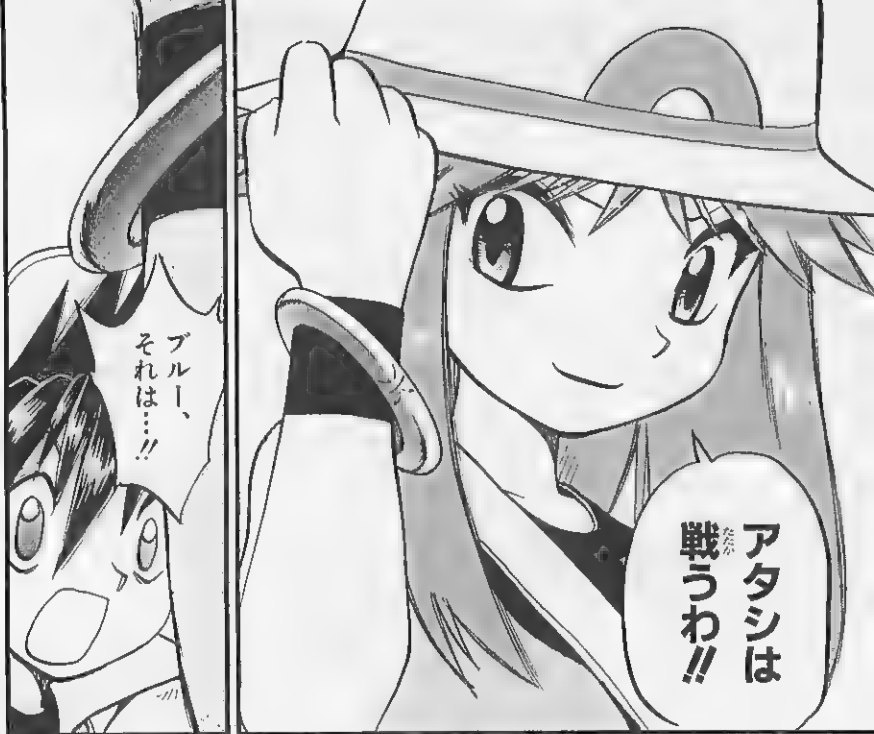
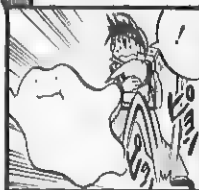
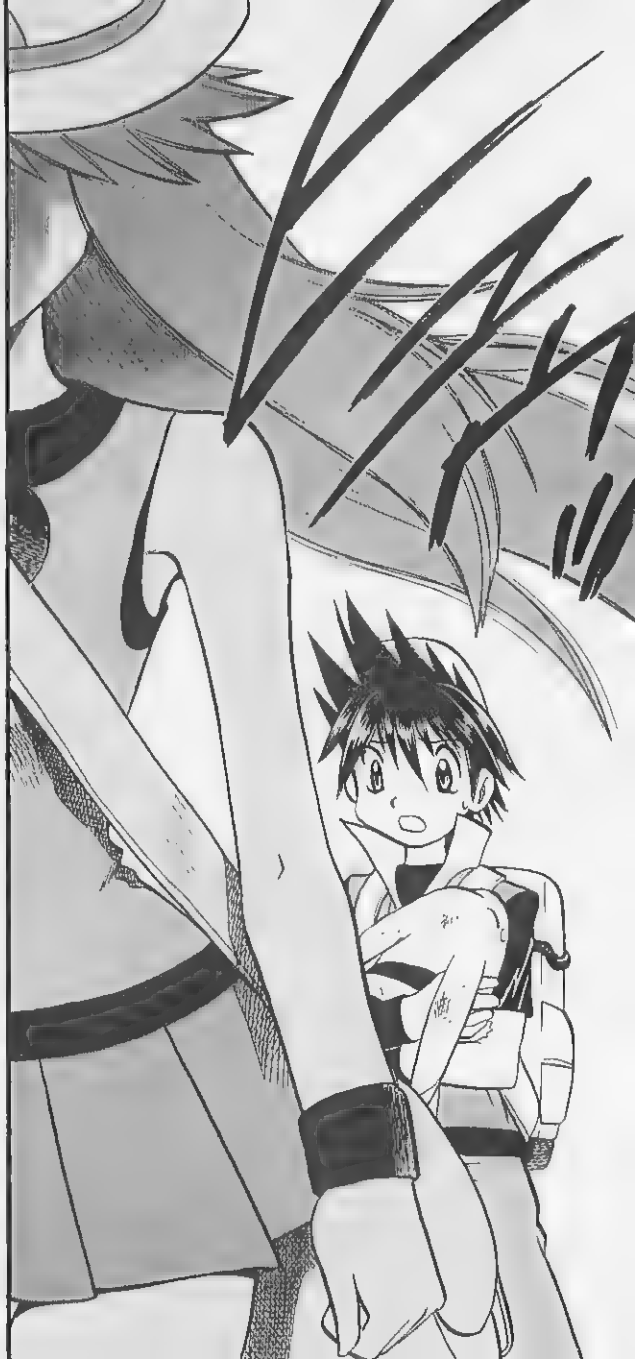
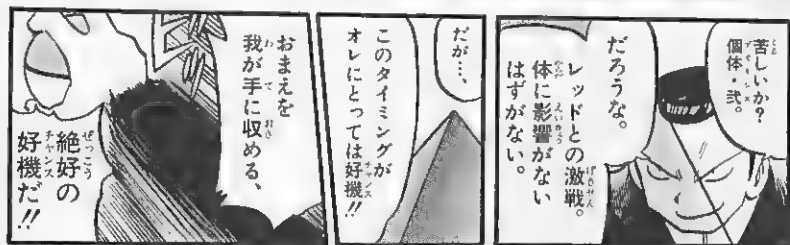
コァー

コァー
コァー
コァー

苦しいか? 個体・弐。
だろうな。レッドとの激戦。体に影響がないはずがない。

だが…、
このタイミングがオレにとっては好機!!
おまえを我が手に収める、
絶好の好機だ!!

いざ…、宇宙の力をわが手に!!!

# ブルーチームのポケモン 1

## カメちゃん／カメックス♂ みず

- LV.80（第282話現在）
- 特性：げきりゅう
- ようきな性格

オーキド博士から譲り受けたブルーの主力。豪快に戦う頼れる1匹だ。水の噴射は移動に使われることも。

## ぷりり／プリン♀ ノーマル

- LV.67（第282話現在）
- 特性：メロメロボディ
- のうてんきな性格

ブルーが幼い頃からの手持ちポケモン。かつては仮面の男の教育によりニックネームで呼べずにいた。

## メタちゃん／メタモン ノーマル

- LV.50（第282話現在）
- 特性：じゅうなん
- うっかりやな性格

様々な形に変身ができる。ナナシマでキワメと仲良くなり、デオキシスの姿を真似、レッドたちを驚かせた。

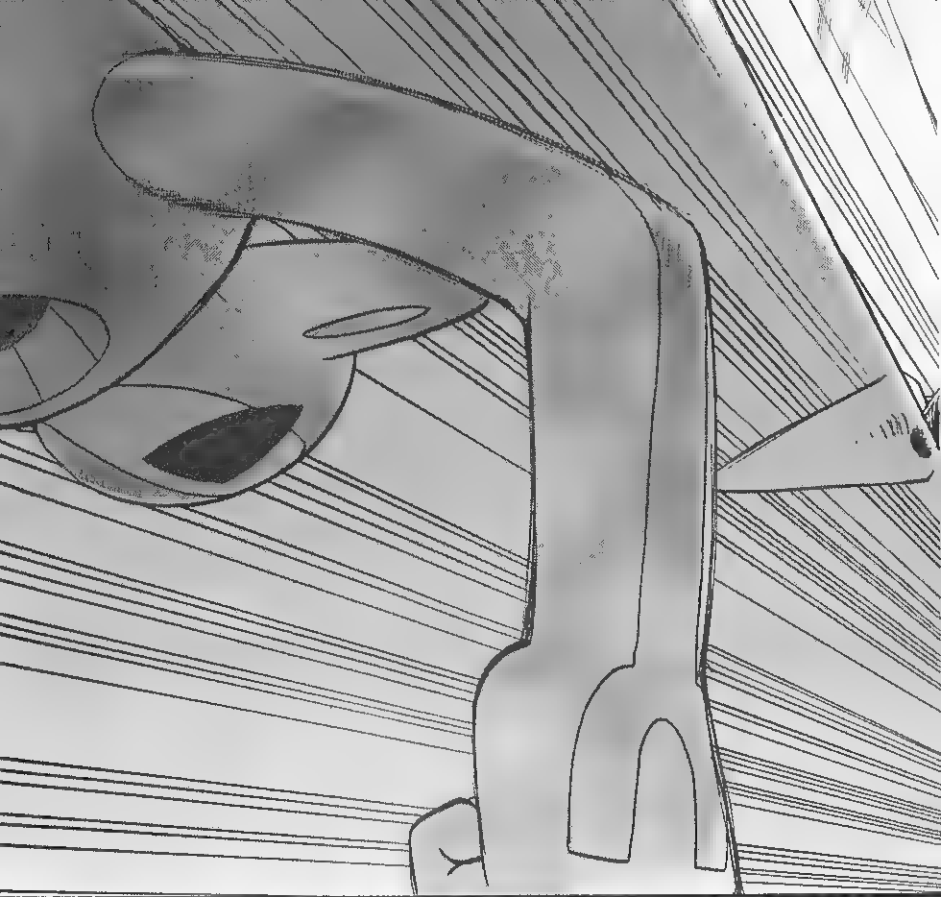
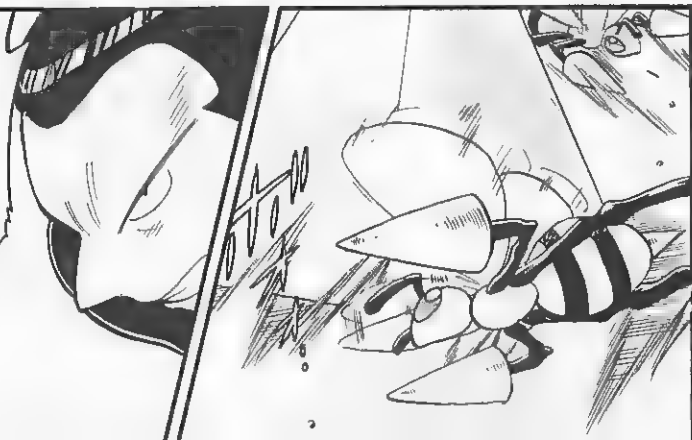
●第283話●

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

いざ…、宇宙の力を我が手に!!

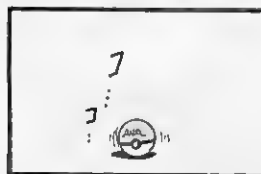
行け!! ボスゴドラ!!

おまえの体をつつみこむ黒い三角形!!
内部で自らのパワーを上げると同時に外部の攻撃から身を守る!!
動き回る防御壁!!
ガ
ガ
ム
!!
だが、私にはわかっている!!
おまえが移動する速さ、軌道、すべての動きが読めている!!
スピアー、"こうそくいどう"ですばやさを最高速まで引き上げ、
追いつめろ!
追いつめろ!!

よし、
ヤツの三角形防御壁が
赤く変色しはじめたぞ！

移動した先ざきで
スピアーに最短距離で
追いつめられ!
次第に防御壁の
エネルギーが失われた、
その証拠!!!
今だ!!
ボスゴドラ!!

〃かわらわり〃!!!
シャッ

コーン

コココ
コ…コ…

コ…
コ…

やったぞ!!
フ、フフハハハハハハ!!
この特殊ボールで、宇宙で生まれしおまえのパワーを今、我が手に収めた!!!

DNAポケモンデオキシス!!

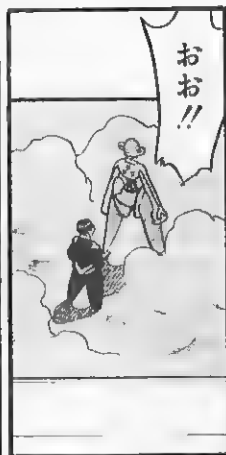
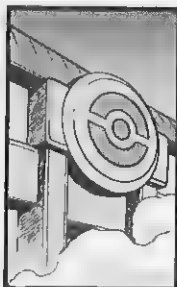
これが本当の誕生だ!!

おお!!


サカキ様が個体・弐を……!!
ついにお捕らえになった!!


よおし、作戦は次の段階に入るぞチャクラ!
……。


チャクラ!!
え!?


もたもたするな!
ま、待つじゃん!!

グリーンは作戦会議、
マサキは
破壊されてしまった
ポケモンセンターの
システムを直している。

ドドドド…

ドドドドド

ドドドド

ブルーは
水の究極技、
〝ハイドロ
カノン〟の
特訓を…。

オーキド博士がR団に連れ去られたことがハッキリして…、グリーンの気合いはいつも以上だ。

ブルーも両親との再会を思って、燃えている。

2人とも…自分の家族のために、戦っている。

なあ、ピカ…、オレが戦うとしたらそれはいったいなんのためなんだろう…。

オレは…、なんのために戦うんだ…?

かなわないとわかっている相手にそれでも立ち向かっていく強い気持ちの源がないから、
だからオレは逃げ出したんだろうか?

パ

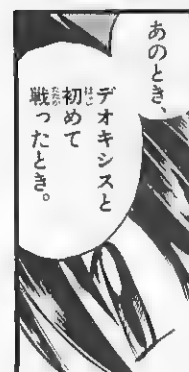
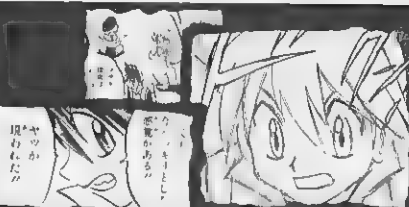
……。

いや、

そうじゃないよな、ピカ。
オレは自分をごまかそうとして逃げ出してたんだ。そのこと、おまえにはわかっちゃってたよな。

長いつき合いだもんな。
おまえにはかくしごとできないからな。

だから正直に話すよ。
グリーンにも、ブルーにも怖くて言えなかったことをおまえにだけは。

あのとき、
デオキシスと初めて戦ったとき。

体の奥が
ドクン、として、
全身の血が逆流して
口から心臓が
飛び出しそうな…、

ただ強い敵に感じる
武者ぶるいなんかじゃ
ない!!

生まれて初めて味わう
感覚がオレを襲ってた!!

デオキシスが現れたこととオレを襲ったあの感覚は、どんなつながりがあるんだ？
あの感覚の正体は？原因は？それがわからなくて…恐ろしかった。

……………。

…うん。
そうだよな、答えはもう出てる。

強い敵だから戦う。ナナシマが襲われるから戦う。オーキド博士やブルーの両親を取り戻すために戦う。
もちろんそれもあるけど、一番の理由は！

オレがデオキシスと戦わなくちゃならないその理由！

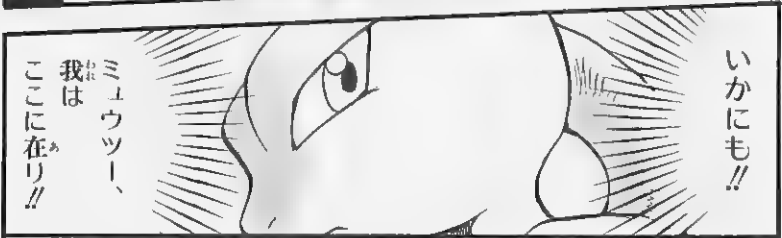
オレの中で起こってる「得体の知れない何か」をつきとめるためなんだ！

これはオレ自身の戦いなんだ!!

どうせ一度は逃げ出したオレなんだ！かっこ悪くったっていい！

行こう！「自分探しの戦い」へ!!

まずは
7の島へ行って、
サキとのバトルで
倒れたカンナを
助けなきゃ！
四天王カンナなら
もう助けた！
誰だ!?
!!

…レッドよ、
今、おまえが抱く
その思い…、
オレにもよくわかる。
オレもずっと
探していたからな。
「オレは何者か？」
という疑問の答えを。
エスパーの力で
形作られた
「念の武器」
スプーン…!!
ということは！
おまえは…!!

ミュウツー!!

R団に作られ、数年前の戦いのあと姿を消したいでんしポケモン!!

# ブルーチームのポケモン 2

## ピッくん／ピクシー♂ ノーマル

- LV.68（第283話現在）
- 特性：メロメロボディ
- やんちゃな性格

ピッピをレッドが月の石で進化させた。“ちいさくなる”“ゆびをふる”などで、相手を惑わす戦法が得意。

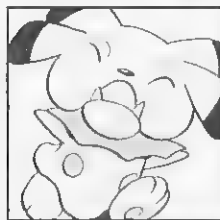
## ニドちゃん／ニドリーナ♀ どく

- LV.69（第283話現在）
- 特性：どくのトゲ
- れいせいな性格

どく攻撃をからめた肉弾戦が得意な1匹。口から出す超音波は相手をまどわす力があるらしい…！

## ブルー／ブルー♀ ノーマル

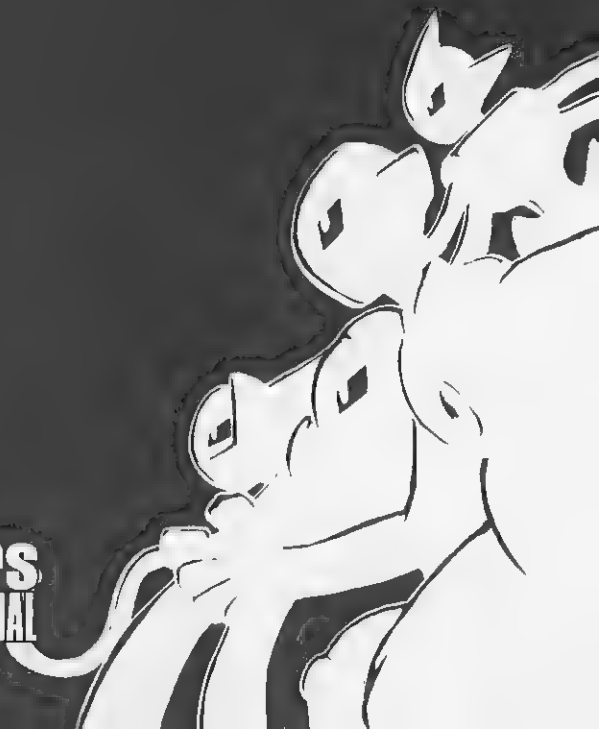
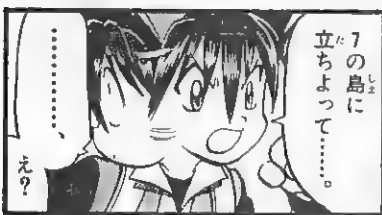
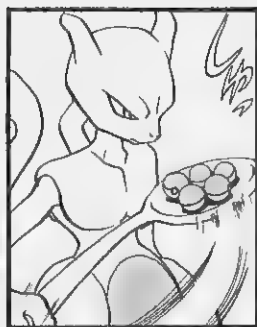
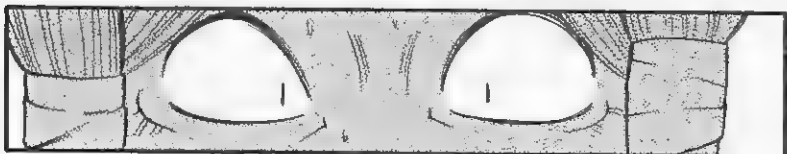
- LV.22（第283話現在）
- 特性：にげあし
- おくびょうな性格

カントー四天王との戦いで「7匹目の切り札」として初携帯。ウバメの戦いでも活躍、現在進化の時を待つ。

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

そうだ、我はミュウツー!!

ロケット団に作られ
数年前の戦いのあと
姿を消した、いでんし
ポケモンだ!!

ともに戦おう。
…と、
誘いに
来たのだが。

ハァハァ…どうかなァ?
キワメおばあさん。
ど、どうもこうもないわい。
優秀なとれーなーですら、2の島きわの岬にあるわしの専用訓練場で跳ノ道・拾ノ道戦ノ道をくりあし、やっと修得できる究極技の伝承なのに……。

ゴゴゴゴ

技を身につける速さ!!
身につけた技の威力!!

すべてが・・・みらくるじゃ!!!

なら、
練習もかねて
手を貸してくれ。

夜が明けたら
出発しようと思って
船着き場まで
行ったら、
やっかいなことに
なっていた。
やっかいな
こと？
あれだ。
？

この！
この!!
じゃぼ
じゃぼ

この!!
はがれろ!!
はがれろっ!!
何やっとんじゃ？
あの船乗りは？
船底を
見てみろ！

ゴゴゴゴゴ

あれは…!?
シンボルポケモン
アンノーンだ!!

こいつらが
推進器に
はりついてる
せいで、
船が動かなく
なっちまって
るんだよ!!

ゆうべ
キワメさんから
呼び出されて
2の島へ
向かう直前、
7の島沖合から
何かが大量に
飛び出すのが見えた
気がしたんだけど、
今思えばこいつら
だったんだ!!

おそらくサキ対カンナの
戦いで解き放たれ、
その後サキの命令で
動いているのだろう。
シーギャロップ号の
あとをつけ、
ここまで来たに
ちがいない。
オレたちを
監視し、
足止めするために!!

そこで、このアンノーンたちを
アタシたちの手で
引きはがそうって
ワケね。
そうだ、
修得したての
究極技でな。

ブルー、
命中精度に
自信は?
あるわ。
助かる。実は
オレのリザードンは
まだノーコンだ。
方向とタイミングは
まかせる。
リードしてくれ。
おいおいおいおい!!

もし推進器まで
ふっ飛んだら
どーすんだよ!!
わかったから
どいてろ。

やるわよ、
グリーン!

水の究極技"ハイドロカノン"!!!
ゴゴ
炎の究極技"ブラストバーン"!!!
ドッ

草の究極技、

ハードプラント!!!

おおお!!
3色の究極技が合わさった!!!

オレはオレ自身の進むべき道をまっすぐつらぬきたい。

そう思って戻ってきた。

……。
好きにするさ。
わしは信じて待っておったぞ、レッドよ。

!!
カンナを助けてきたのか？
でもどうやってこの島へ？

いや、助けたのはオレじゃないんだ。

わああ

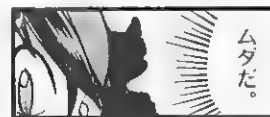
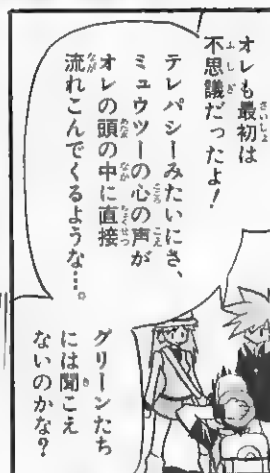
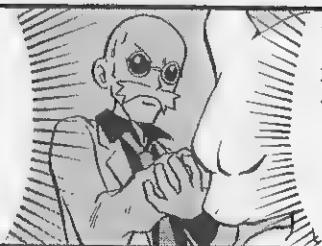
数時間後

よし！
準備も整った!!

ザザァ!!

再戦に向けて
出発じゃあ!!

…やっぱり
気になるなァ。

ああ。
オレも、なぜ
ヤツがここに
いるのか理解
しかねている。

ミュウツーはミュウツーで今回の事件について調べてたみたいなんだ!!

なぁ、レッド…。

……おまえ…そのミュウツーの考えをどうやって知ったんだ？

オレも最初は不思議だったよ！テレパシーみたいにさ、ミュウツーの心の声がオレの頭の中に直接流れこんでくるような…。

グリーンたちには聞こえないのかな？

オレの意思は今、おまえにしか伝えていない。

この世で唯一
オレをボールに
収めたレッド、
おまえと、

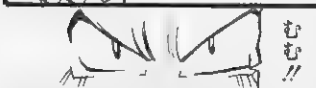
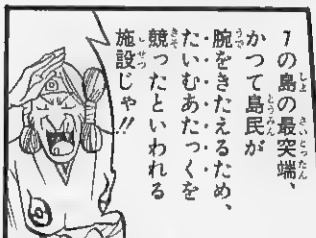
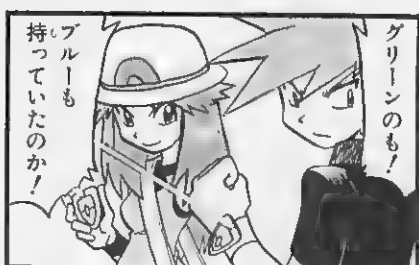
オレと組んで
強敵と勇敢に戦った、
あの麦わら帽子の
トレーナーだけだ。

オレと…、
イエロー…。
そうだ。
レッド!!
ぼんやりするなよ、7の島が見えてきた。
それから、バトルサーチャーを見てみろ!
!!!
反応している!!

7の島の最突端、かつて島民が腕をきたえるため、たいむあたっくを競ったといわれる施設じゃ!!

むむ!!

来おったぞ!!

ワアアアアー

ここにもアンノーンが!!

やっぱり!番兵の役目を命じられているんだ!!

ポワッ
どれだけの敵がいようとも…、
なぎ倒すのみ!!

# カンナ

KANNA

●出身地：４の島
●誕生日：3月１５日
●血液型：A型
●手持ち：パルシェン、ルージュラ、ヤドキング、ジュゴン

カントー四天王の1人で氷タイプのエキスパート。氷の技を使い、敵の動きを封じる戦いを得意とする。幼少時キクコに救われたことでワタルらの野望に参加、ともに戦った。クールな性格に見えるが、心の奥ではポケモンへの愛が満ちている。故郷4の島にロケット団が出入りしているとの噂を聞き参戦、サキとの戦いに挑んだ。
“れいとうビーム”で、特定の人間をモデルにした氷人形を作成する能力を持つ。

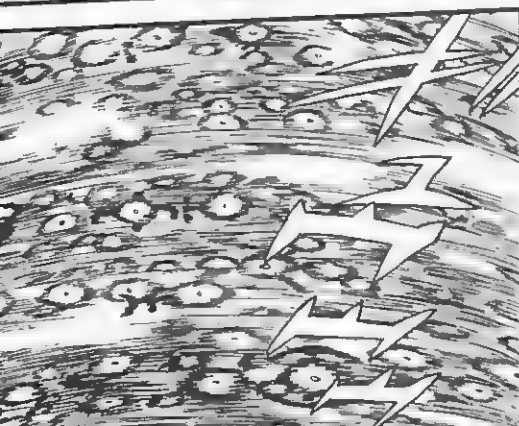
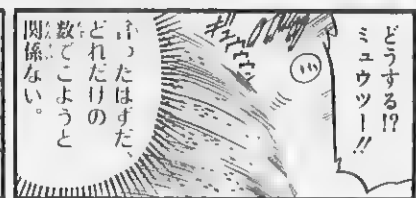
# ●第285話●

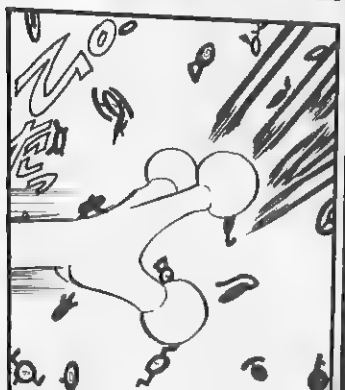
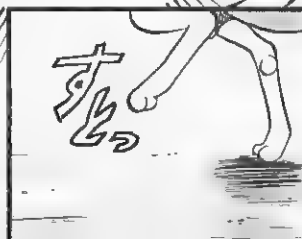
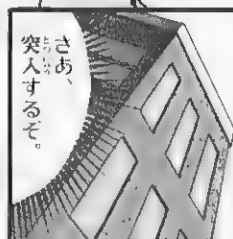
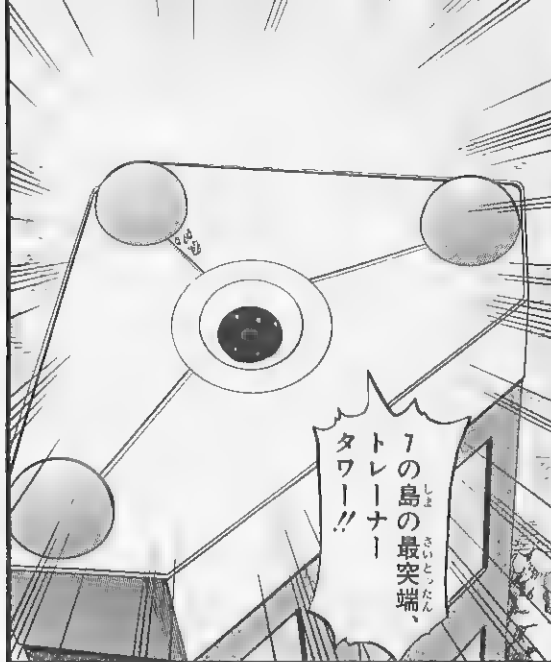
Pocket
Monsters
SPECIAL

ドッ
ガッ
ガッ
ドッ
ガァ!!
なんてすさまじいパワー……!
そしてスピードだ!!
…これがいでんしポケモン、ミュウツーの力……!!!
ギュウウウウ
ぴくっ

建物が
見えなくなるほどの
アンノーン!!

なるほど!!
高速で円を描くアンノーンが
何重にも重なって…、
先に進むことも
一気にはじき飛ばすことも
阻んでいるというわけか、
さすが本陣を守る
番兵だけのことはある。

どうする!?
ミュウツー!!
言ったはずだ、
どれだけの
数でこようと
関係ない。
ふり落とされぬ
ように
気をつけていろ。

スプーンの形をとっていた念のエネルギーが……、
渦を巻きはじめたわ！
ギュオオオオ

こざかしい陣形など
この技の前には無意味!!
"サイコウェーブ"!!
"サイコウェーブ"だって!?
…これが!?
ミュウツーの起こす
念の波動が
竜巻状に
なってるんだ!!

ゴゴゴゴ
タワーをおおいつくしていた、あれだけのアンノーンを一気に巻き上げてしまった。
ミュウツー1匹で、オレたちの究極技3つを合わせたのと同等の威力を出せるということか……。
フフフ…。
ファウウ
いいものだな、時間制限を気にせず戦えるというのは。
ヒュウウ
さあ、突入するぞ。
すとっ

ここが……、

7の島の最突端、トレーナータワー!!

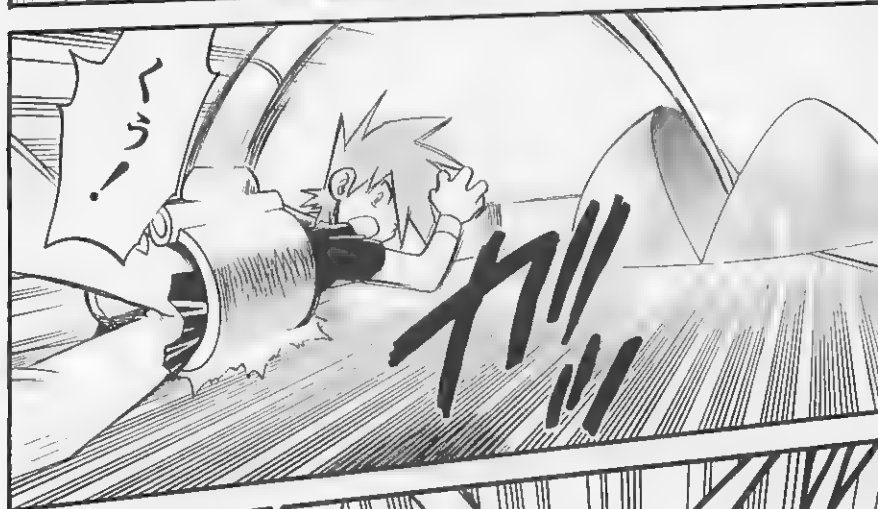
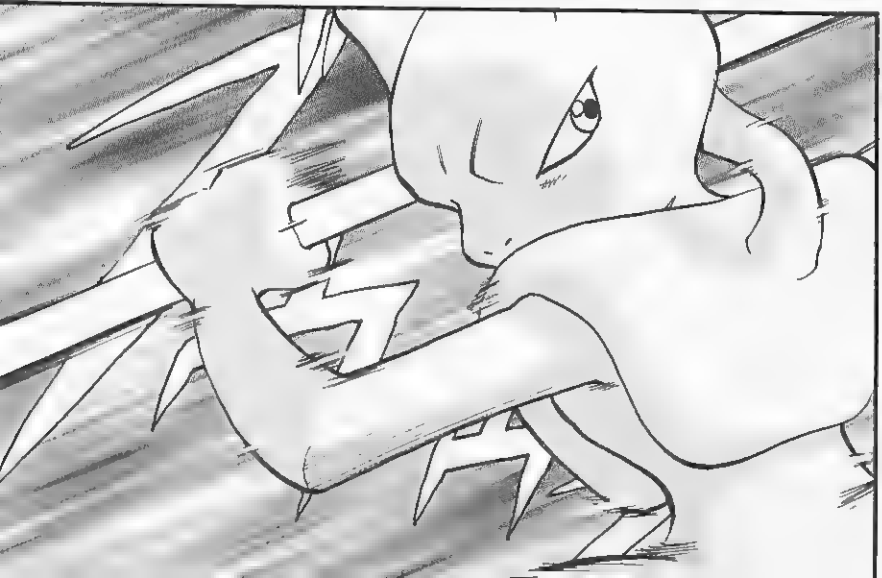
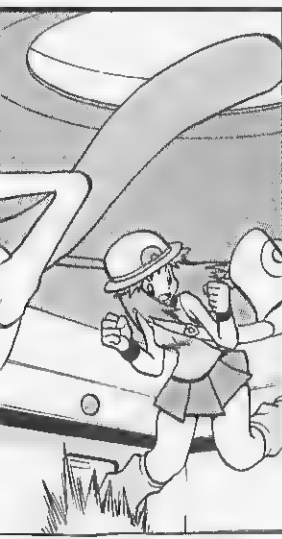
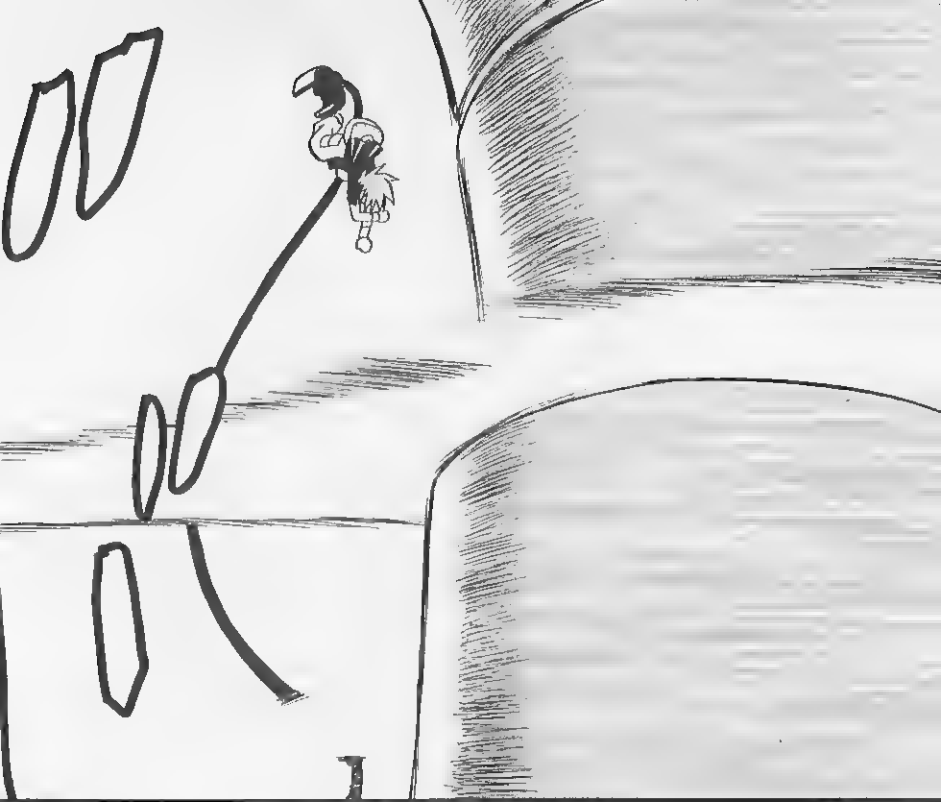
おじいちゃん!!!

パパ!!
ママ!!!

イヤ、ちがう!!
立体映像だ!!
くう!
きゃあああ!!
グリーン！ブルー!!

ガッ
うっく!!!
ちぃいっ!!
ギュウウウウウ

こっちだ、来い。

みんな無事か?
ええ。
くそっ!ロケット団め!!グリーンとブルーの家族を想う気持ちを利用しやがって!
利用されるほうが悪い。

フッ…、よけいな手間ははぶけばいい。

立体映像なぞにまどわされぬよう、このミュウツーの念の力で……。

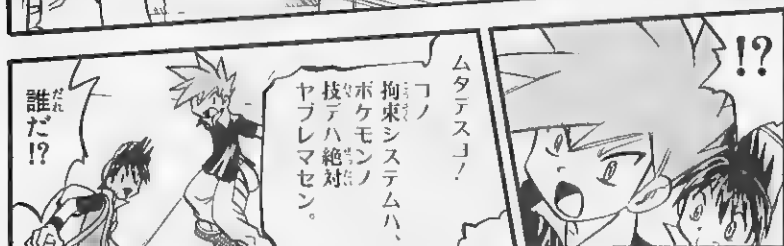
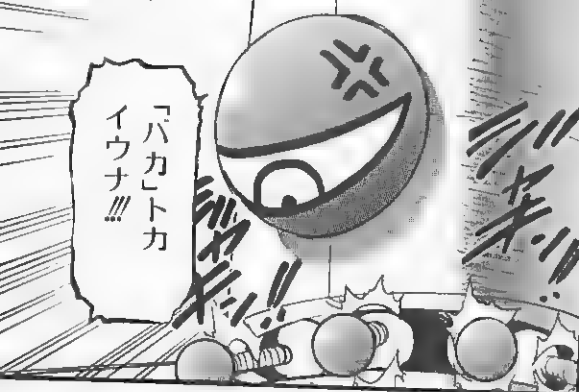
キィィィィィィィン

そこだ。

おじいちゃん!!!
お…、おグリーン。
今、助ける!
グリーン冷静に!!
わかってる!!

ハッサム
手かせをはさみ切れ!!!
!?
コノ拘束システムハ、ポケモンノ技デハ絶対ヤブレマセン。
ムダデスヨ!
誰だ!?
ダレデモナイ!!
ワタシは「r」!!!
コノトレーナータワーノ、マザーコンピューター!!
イウナレバ、トレーナータワーソノモノ!!!

タワーが意思を持ってる!?
敵は建物だと!?
バカな……!!

「バカ」トカイウナ!!!

コノタワーノ中ニイルカギリ、アラユル所カラ武器ガ飛ビ出スカラネ!

ポケモンヨリスーット、コワイ攻撃ノカズカズガ!!

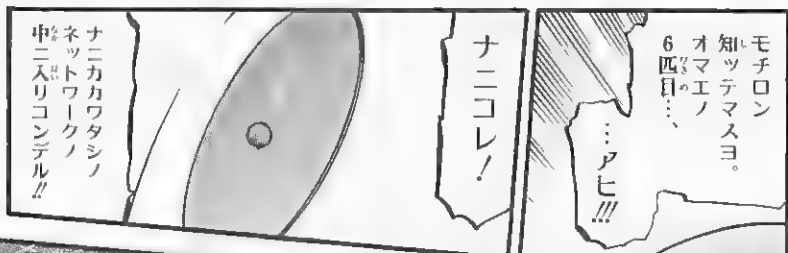
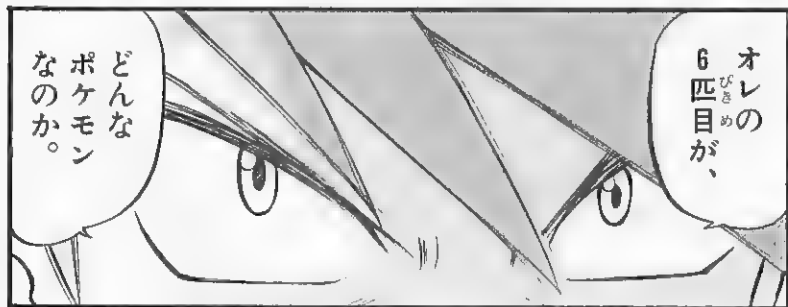
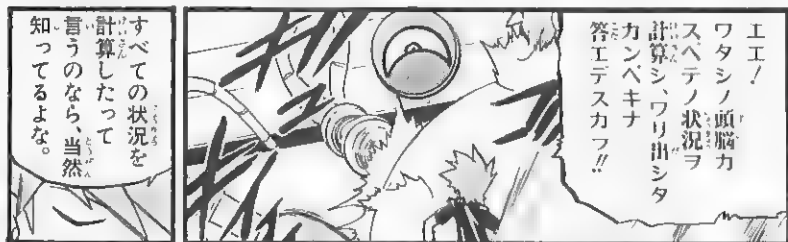
オマエガオジイチャンヲ助ケ出ス確率ハ100%ナイヨ!!!

……。

ポケモンの技は通用しないだと?

オレがおじいちゃんを助け出す確率は100%ないだと?

本気で言ってるのか?

エエ！
ワタシノ頭脳カ
スベテノ状況ヲ
計算シ、ワリ出シタ
カンペキナ
答エデスカラ!!
すべての状況を
計算したって
言うのなら、当然
知ってるよな。
オレの
6匹目が、
どんな
ポケモン
なのか。
モチロン
知ッテマスヨ。
オマエノ
6匹目…、
…アヒ!!!
ナニコレ！
ナニカカワタシノ
ネットワークノ
中ニ入リコンデル!!
スゴイ速度デ
ワタシノ中枢ニ
セマッテキテル！
コレハ…!?

バーチャルポケモン‼
ポリゴン2。
コンピューター空間をゆく電脳戦士‼

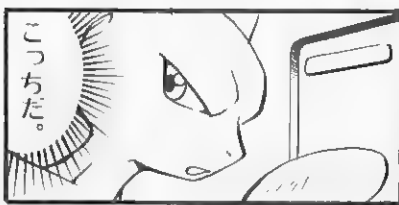
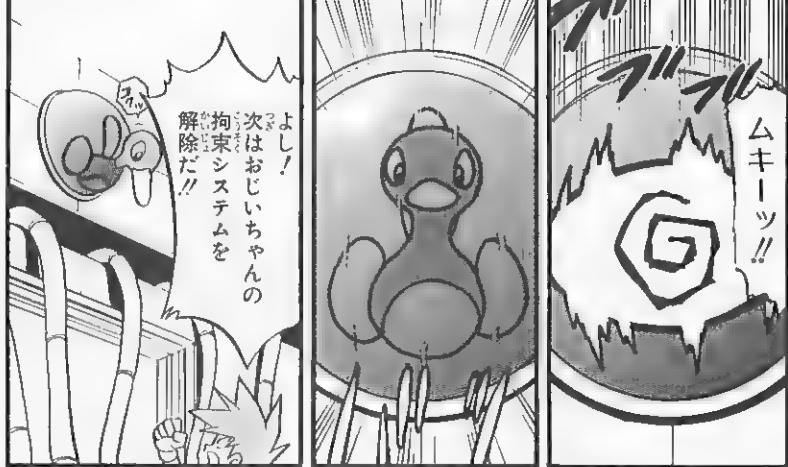
"でんじほう"‼

ムキーッ!!
ブルブル
よし!
次はおじいちゃんの
拘束システムを
解除だ!!

博士!
わしは
大丈夫じゃ。
早く…、ブルーの
両親を……。

ポリゴン2、
"リサイクル"で、
もう一度
「カムラの実」を使え!!
スピードを上げてブルーの
両親の拘束も解除するんだ!!!

こっちだ。

パパ!!
ママ!!!
よかった…、
よかったのう……。
再会の感激にひたるのは、
まだ早いようだぞ。
ズ
ズ
ズ
ズ

# ニシキ
NISHIKI

●出身地：1の島
●誕生日：11月12日
●血液型：A型
●職業　：ポケモン転送システム開発・管理者

マサキとともに転送システムを開発した研究仲間で、ナナシマのネットワークを管理する青年。落ち着きを持った物静かな性格だが、正義感は強い。マサキのことを先輩として尊敬し、また目標にしている。ナナシマのシステム不通をきっかけに事件にまきこまれ、レッドたちに協力する。

●第286話●

Pocket
Monsters
SPECIAL
The Fifth Chapter

こいつらは…、

デオキシス…、…なのか?

来るぞ!!
ピッくん、ぷりり!
パパとママ、博士を守って!!
フッシー!
リザードン!
カメちゃん!!

むほっ!!
少しでもレッドたちの助けになればと思って追ってはきたが…、
これではタワーに近づくこともできん!!

私は…、ちがうと思う……。
おう！気がついたか！四天王カンナ!!
光栄だわ。伝説のトレーナーが名前を知っててくれたなんて…。
それに、ずいぶんお世話になったみたい。
なんの！それよりカンナよ、ちがうという理由は？
これよ。
私は7の島で三獣士のリーダー格サキと戦い、敗れた。
でも去りぎわのサキにひとつ、しかけをしておいた。
私のルージュラが放った凍気を、サキの左足にまとわせたの。
それは発信機のようにサキの居場所を教えてくれる。

……それによれば……、

三獣士……。いえ、少なくともサキは今現在、タワーの中にはいない。

マヌケ面でおねんねしてるオウカを回収しろチャクラ。
OKじゃ〜ん!

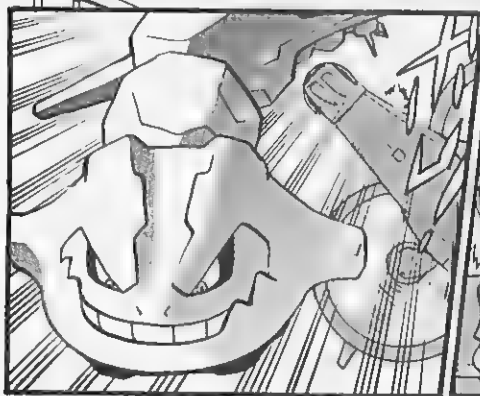
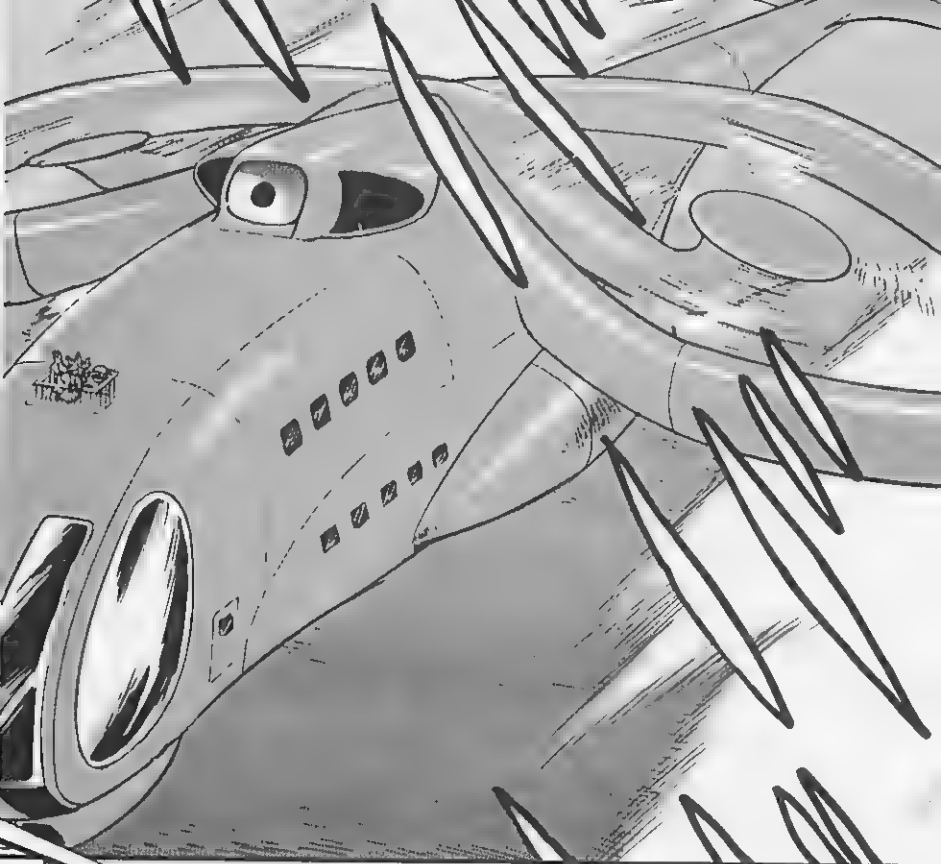
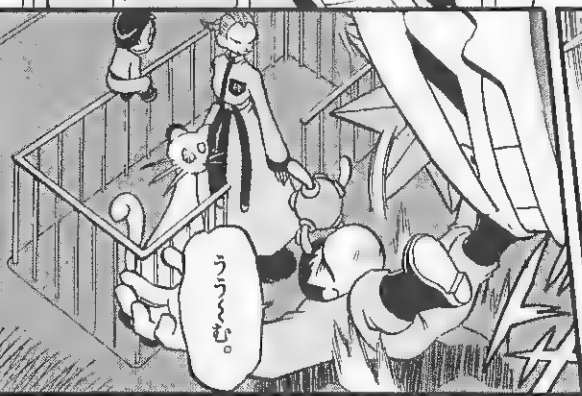
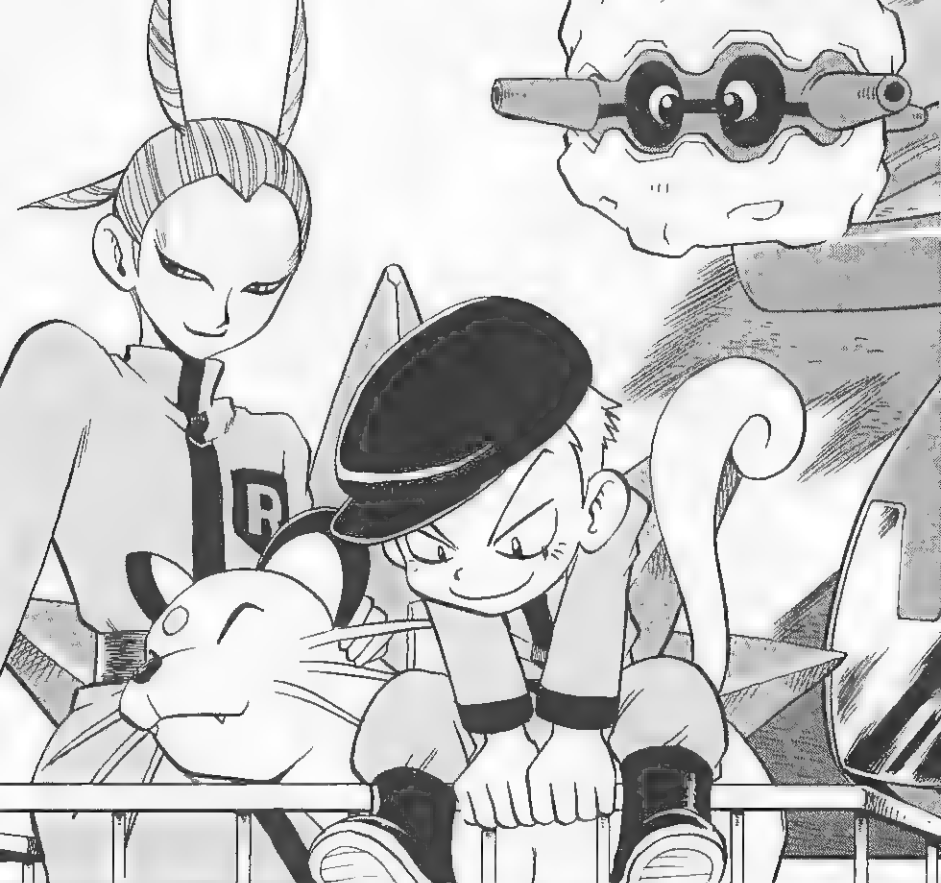
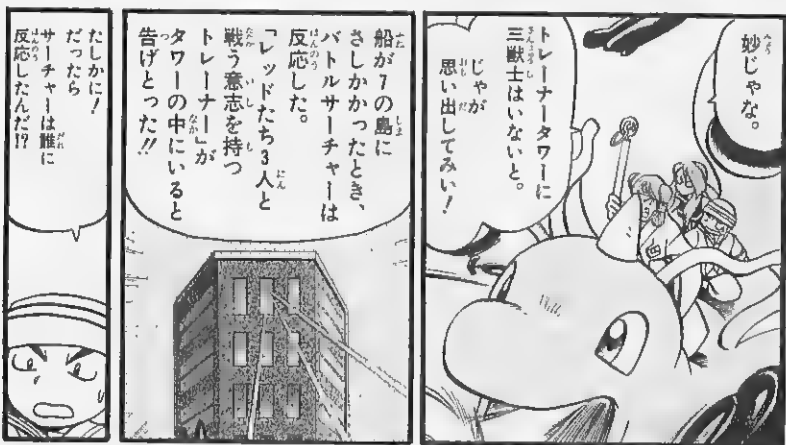
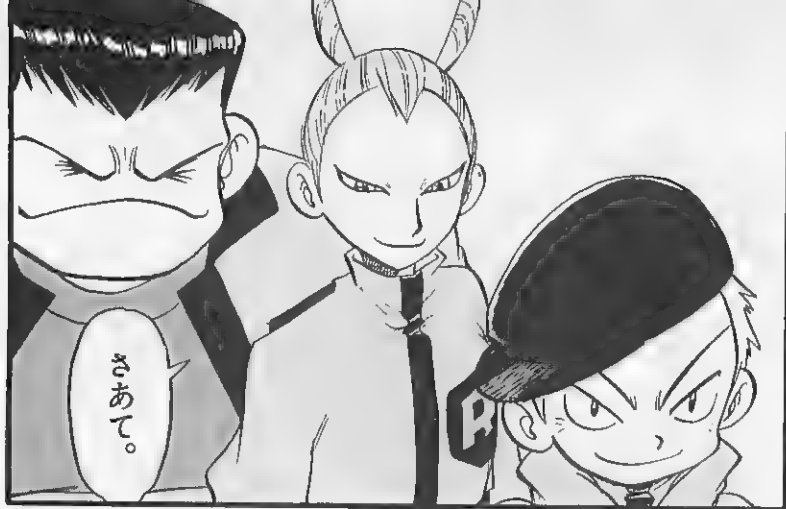
ズシャ!!
うう～む。

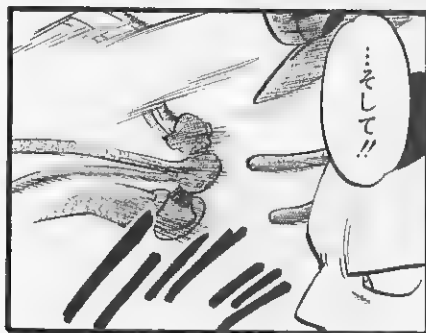
さあて。

妙じゃな。
トレーナータワーに三獣士はいないと。
じゃが思い出してみい！

船が7の島にさしかかったとき、バトルサーチャーは反応した。「レッドたち3人と戦う意志を持つトレーナー」がタワーの中にいると告げとった!!

たしかに！だったらサーチャーは誰に反応したんだ!?

考えられることは…ただひとつ。
タワーの中でレッドたちを待ち受けている敵は……。

キリがないわ!!
ああ!!
こいつらはなんなんだ!?
デオキシスディバイド。
デオキシスが作り出した分身。
デオキシスの影。
私の手持ちとなったことで覚醒した、デオキシスの新しい能力だ。

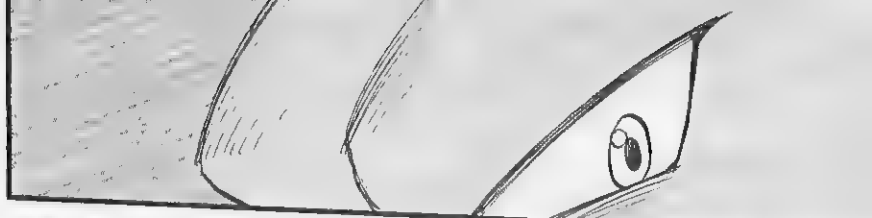
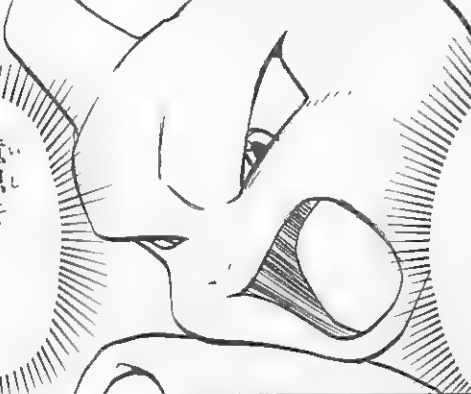
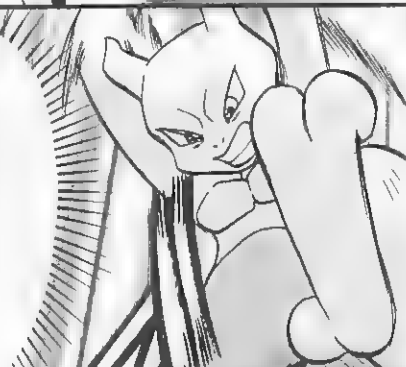
Raid On the City,
Knock out, Evil Tusks.
本当に…、
本当に久しぶりだ、レッド。
…そして!!

破壊の牙ロケット団、我が本拠地にようこそ。
…サカキ!!
思わぬスペシャルゲストも来たようだな。
ミュウツーよ。

なんのマネだ ミュウツー。
私はおまえを造った人間、いわばおまえの創造主だぞ。

そうとも! オレはおまえに…、おまえたちR団に造られた。

ほう! テレパシー。
人に直接意思を伝えられるようになったのか。

ああ、心許した者たけにはな……。

だが、おまえは例外だ!!

おまえたちの欲望のために、都合のいい生命として造られたこのオレの…、
意思を伝えるために!!
なんのためにここに来た?
オレのように利用され、苦しむポケモンが出ることにオレは耐えられない!!
そのためにオレはナナシマに来たのだ!!!
おまえの計画を阻止し、同じことができないようにする!!

ぬう。
スタッ

どういうことだ!? ミュウツー!! サカキに「同じことができないようにする」って…!?
おまえみたいに利用されているポケモンが、ほかにもいるっていうのか!?
確信があるわけではない! だがレッド、気がつかなかったか? ロケット団の連中はデオキシスをなにポケモンと呼んでいたか?
おまえたちを使って DNAポケモン、
デオキシスを呼び寄せること…。

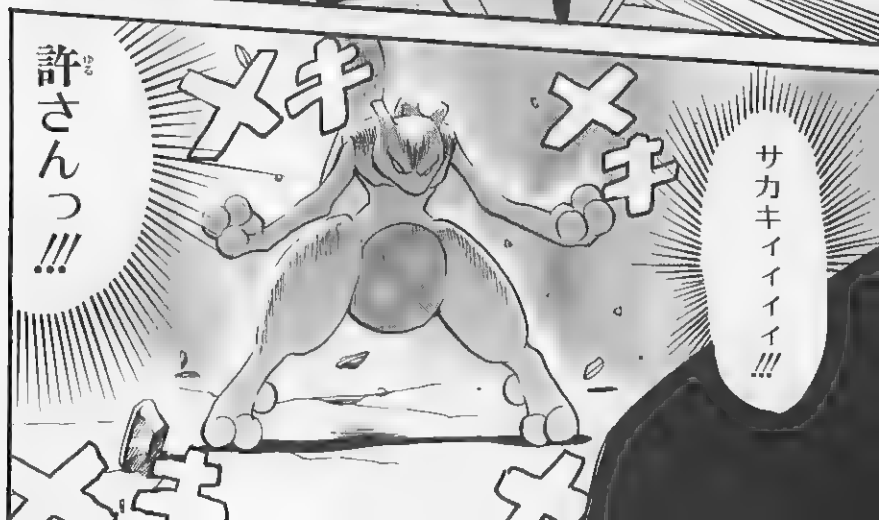
DNA…、
ポケモン…と…。

DNAとは
すべての生物が持つ
生命を構成する設計図。
それを記憶する遺伝子
「デオキシリボ核酸」
のことだ。
そして、このオレ
ミュウツーも
「いでんしポケモン」
と呼ばれている。

DNAポケモンと
いでんしポケモン、
似た意味あいの
名称。
このことが
気になっていた。

ミュウツー、
おまえは
デオキシスと
自分を重ね合わせて
いたのか。
だが、おまえと
デオキシスは
ちがう。

教えてやろう!!
ある
「宇宙ウイルス」が
レーザー光線を
浴び、
突然変異を
起こしたウイルスは
見たこともない
ポケモンになった!!

じゃあ
デオキシスは
宇宙から来た
ポケモン!?
そうだ!!
ミュウツーには意思を
持たせ失敗した。
だからデオキシスからは
それすらも奪う!
宇宙の未知なる力は
今や完全に
このサカキ
だけのもの!!
メキ
メキ
サカキイイイ!!!
許さんっ!!!

オオオオオ
おまえのその強大なパワーは危険だな、ミュウツー。
カチ
少しセーブしてやらんとな。
ジャッ
!!
ミュウツー!!
ミュウツー専用拘束具、M2バインだ。
どこで私の動きを調べ上げたのか知らんが…、知りすぎたことがおまえの不幸だ。

5の島
すっかり夜も明けたな〜〜〜。
レッドたち大丈夫やろか？わいだけ5の島に残ってるのも落ちつかんのやけど…。
いやいや！わいにはわいの使命があるんや!!
おーい！マサキさーん!!
ニシキ!!
よかった無事だったんですね!!
1の島は暴徒がひどくって…。シーギャロップ号がないから、自前のモーターボートで逃げてきたんです。おかげで遅くなっちゃった。
かまへんかまへん、おまえと合流できたら百人力や!!
まずはあの2人に連絡とりたいねん。さっそく電話つなげてくれるか!?
ハイ。
トゥルルルル
トゥルルルル
ハイハイあ〜あ〜。
ハーイ、こちらポケモン転送管理センターホウエン支局、マユミ&アズサのオフィスでーす!!

# サカキ

## SAKAKI

●出身地：トキワシティ
●誕生日：8月1日
●血液型：O型

●元トキワジムリーダー
ロケット団首領

カントーを中心にかつて暗躍した秘密結社「ロケット団」を組織した男。同時にトキワのジムリーダーでもあった。5年前のレッドとの戦い後、組織は一時解散され、サカキも修行の旅に出るが、その後サキ・チャクラ・オウカの3人から成る三獣士をはじめとしたメンバーを新たに集め再結成、ナナシマでデオキシス捕獲のための計画を進める。レッドを利用したデータの集積によってついにデオキシスを手中に収めることに成功したがその真の目的とは…!? エキスパートタイプは「地面」。別名「大地のサカキ」。

# ●第287話●

Pocket Monsters SPECIAL

ハーイ。こちらポケモン転送管理センターホウエン支局、マユミ&アズサのオフィスでーす！
ムニョニョニョ
？
もしもし!? もしもーし!?
おかしいよおかしいよアズサおねーちゃん！向こうの声がなんか変!!
スピーカーフォンになってるわ、マユミ。
もしもーし もしもーし、
あ、ホントだ!!
ごめんなさーい!! もしもーし!?
あいかわらずそうぞうしいなマユミはん、アズサはん。わいや、マサキや、ニシキもここにいてる。
えー!! 久しぶりー!! どーしたのー!?
わいは今ナナシマにおって、大変な事態に直面してんのや！
…そこで!!

2人の知恵を借りたいんや！
同じ転送システム開発メンバーである天才姉妹、マユミとアズサに!!

ミュウツー!!

ダメ…だ…
力が……

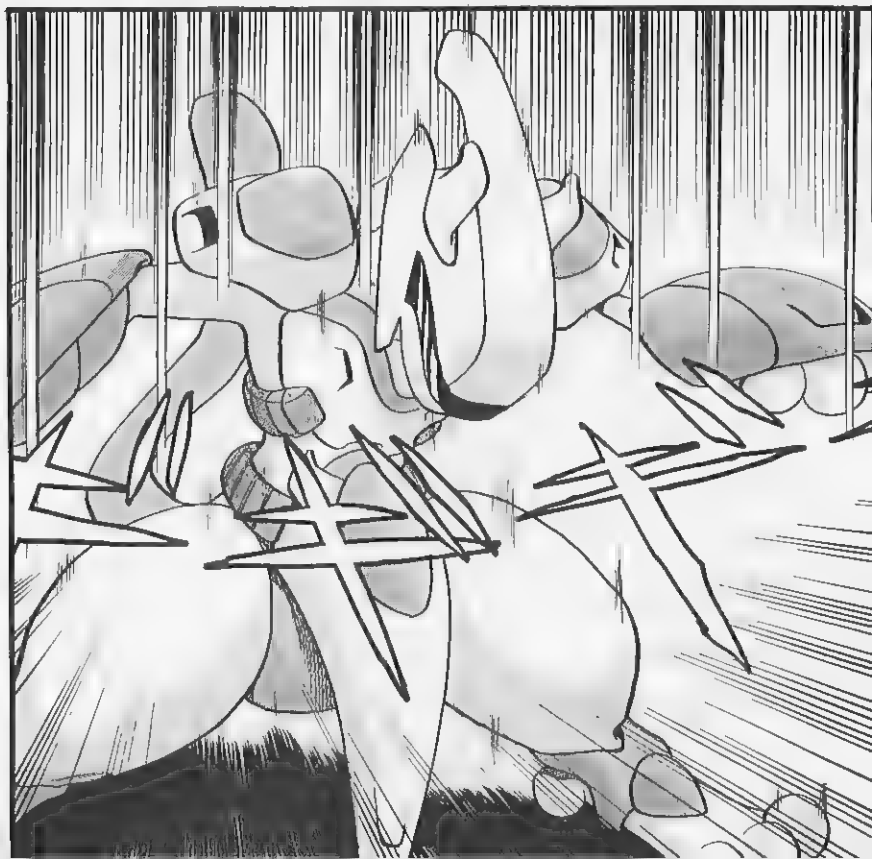
フッシー!!
あの拘束具を
引きはがせ!!

ムダだ。

ミュウツー専用拘束具
M2バインは、
トレーナータワーの
マザーコンピューター
「r」に連動している。

「r」!
説明してやれ!!

パチコオオオン

ワッカリマシター!!
ボス!!

オット。
サッキミタイニ
ネットワークニ
入リコンデ
解除ショウトシテモ
ダーメ!!

ヴ〜ン
電脳空間ノ中デ
鍵シテアゲマシタ——!!
ポリゴン2!!

ガチャ

ギャハハハハ!!
ゲラゲラゲラ!!
「I」は優秀な
コンピューターだが、
プログラミングを
チャクラがしたせいか、
少々品がないな。
へっくし!!

それはともかく、
…これで作戦は
すべて終了…、
チェックメイトだ。
!?
どういうことだ!!

デオキシスが
全形態
変化可能となり
我がものとなった!!
ミュウツーの力も
押さえつけた。
私の行動を阻むと
警戒していた
おまえたちマサラの
図鑑所有者たちも…、

ここで
デオキシス
ディバイドたちが
かたづける。

もうなんの
心配もない
ではないか。

これで
心おきなく
探しに行ける。

わが息子を…、
取り戻しに行ける。

さらばだ。

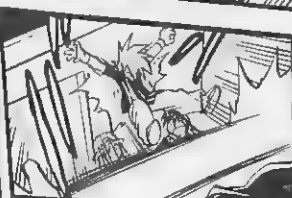
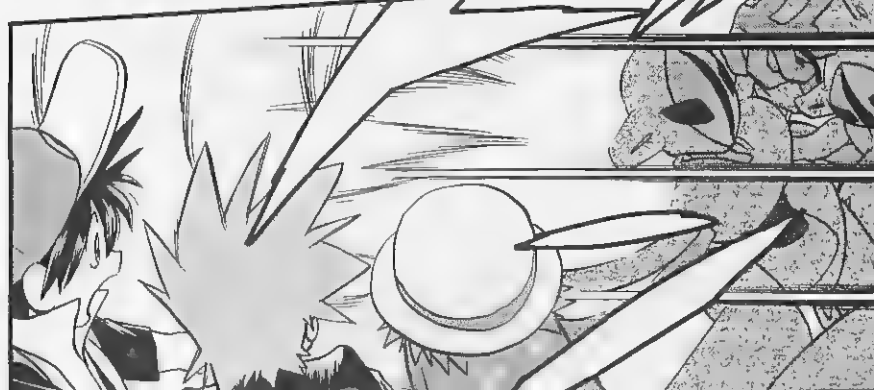
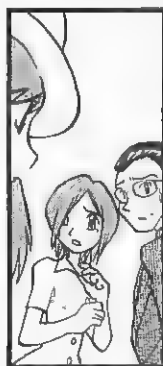
待て、
サカキ!!

きさま…きさまのようなヤツが、トキワジムの…オレの先代リーダーだったなんて!!
こんな男を自分の先達として、わずかでも興味を持ち認めていたのか、
…くそ!!
大地の奥義
だから?
それがどうした!?
……。

何!?

ドォオオ

ふぃ〜、やっと追いついたわい。

美しき援軍の到着じゃ!!

…でもね、パパ…ママ…。
これが今のアタシなの。
パパとママと離れてる間にあたしが背負った戦う宿命、
悪に立ち向かう使命…。
絶対に笑顔で戻る！
悪いヤツを全部やっつけて…笑顔で戻るから!!
……。
よおし！わしもここでともに戦うぞ!!
カンナよ！わしのカイリューあつかえるな？
もちろん！
カンナ。
パパとママを…お願いね。
……。
ええ。

おじいちゃんも早く！
ブルーの両親と一緒に……！
デオキシスディバイドたちがまた動き出した!!

いや、グリーン、わしも残る！
このタワーでわしもまだやることがある!!

ブルー！一緒に来るのじゃ!!
え!?
だ――っ!!

博士！いったい何をするつもり!?
わからんか!?ブルー！取り戻すんじゃよ!!

奪われたキミらの3つの図鑑を!!!

ポケモン管理センター
ホウエン支局

本当にそんなこと言ったの？
その R団幹部は……。

ああ！ホンマや!!

ホ・ウ・エ・ンとハッキリな。

赤と青の2つの石!!
その名は「ルビー」と「サファイア」!!!

その力によって出現せしホウエンの風土よ!!
デオキシスのさらなる新形態 第4のフォルムを呼び起こすのだ!!

アズサはんマユミはん、あんたらが今いる地方の名前や！

パッチールは
1匹1匹
全て違う
模様をしているし、
アンノーンは
28種類の亜種が
発見されているでしょ?
でもアズサさん、
それらは
「異なる外観」であって
「変化」じゃないですよね。
そういう感じじゃ
ないんですよ。

じゃあ、
こういうのは
どう?
ポワルン!
天候に応じて
複数の形態に
変化するわ。

うん!
そっちの方が
近いね!!
「天候」によって
「変化」すると
言われている
ポワルン。
「天候」を
「風土」に
置きかえて
みると…。

「風土」によって
姿を変えるポケモン!
…つまり
今、存在している
「土地」「場所」に
よって「変化」する
って考えられない!?

それや!!

きっとそれや!!

攻撃にすぐれたアタックフォルム！

防御にすぐれたディフェンスフォルム!!

この2つは事件のはじめから姿を見せていた！

きっとカントーの風土で形づくられる形態なんや!!

一方であのすばやさにすぐれたスピードフォルムや、

すべての能力をバランスよくあわせ持ったような…、ノーマルフォルムと呼ばれた形態は、

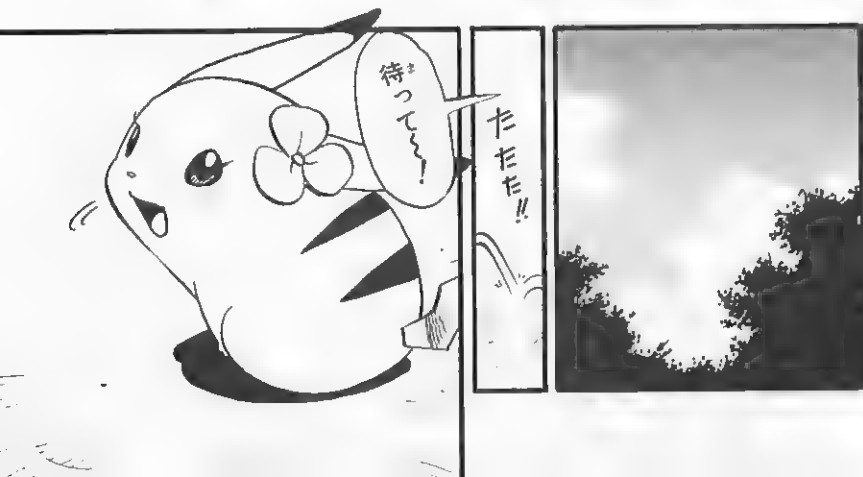
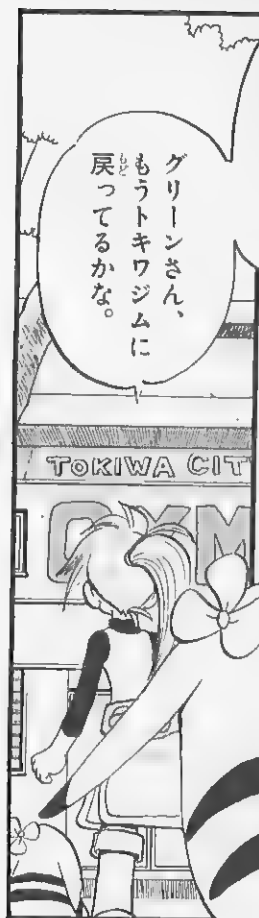
青と赤の石が戦いの場に持ちこまれてからはじめて完全に姿を見せた！

その2つの石のエネルギー。そのルーツ。
調べることまだいっぱいある!!

そやな!!たのむで!!また連絡する!!

おおきにやで、マユミはん!!アズサはん!!
今の推察をヒントに…、この事件を終わらせることができるかもしれへん!!

たたた!!

待って〜!

ふう……。
久しぶりに会うと思うと緊張しちゃうね、チュチュ。
グリーンさん、もうトキワジムに戻ってるかな。
TOKIWA CIT
チュチュも楽しみでしょ？レッドさんも一緒のはずだからピカにも会えるんだものね！
おはよーございまーす。
グリーンさん。

し〜〜ん
ありゃりゃ？
帰ってないのかな？
マサラの
オーキド研究所に
寄ってからジムに
戻るって聞いたのが
先週だから、
もういる頃だと
思ったのに…。
わ――!!
わっわっわっ!!
挑戦者の
トレーナーの方、
ようこそおいで
くださいました。
トキワジムの
リーダー、
グリーンです。
申しわけ
ありませんが
ただ今、留守に
しています。
おどろいたー。
来た人に反応して
立体映像が
応対するんだ。

とはいえ、せっかくおこしいただいたのですからジム戦は受けつけます。

私が育てたこちらのポケモンたちがあなたのお相手をします。

勝利できれば公式戦同様、このグリーンバッジを授与しましょう。

……。

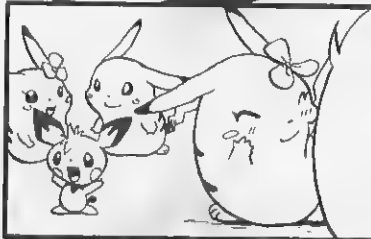
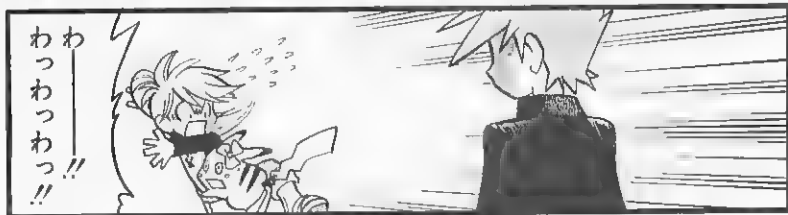
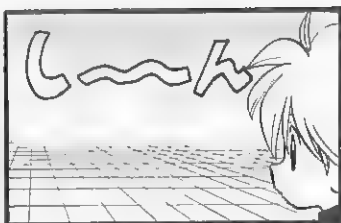
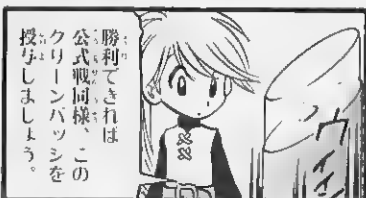
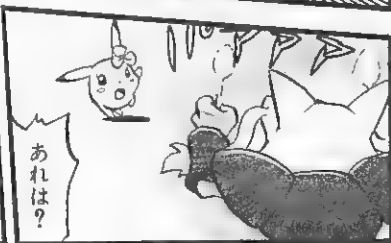
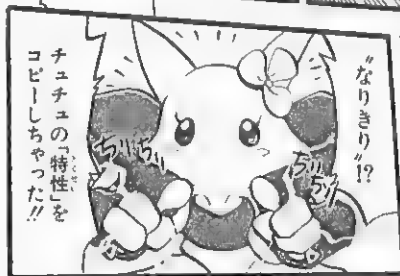
え!?挑戦してみたいって?

“つばさでうつ”だよ!! よけて!!

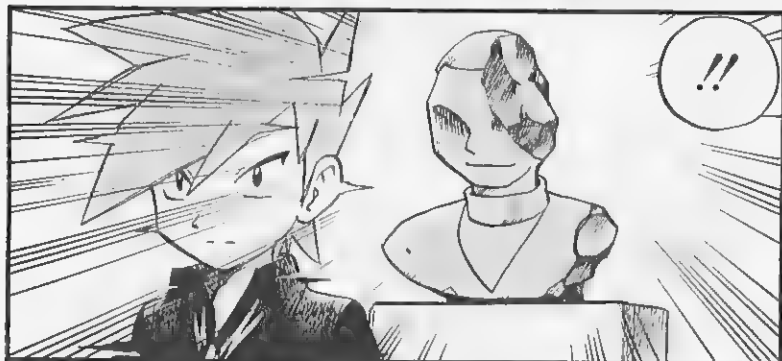
今度はフーディン!!

あれは?

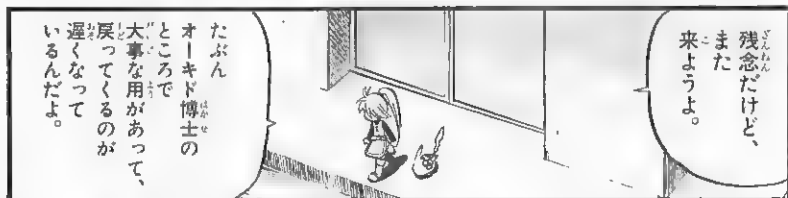
“なりきり”!?

チュチュの「特性」をコピーしちゃった!!

たは〜〜、あっという間に負けちゃった〜。
ごめんね、チュチュ いい指示出せなくて〜。

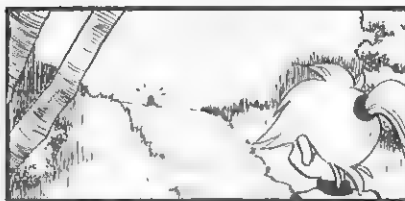
それにしても自分がいなくても戦えるくらいまでポケモンをきたえているなんて本当にすごいな、グリーンさんは！
さすが「育てる者」だ!!

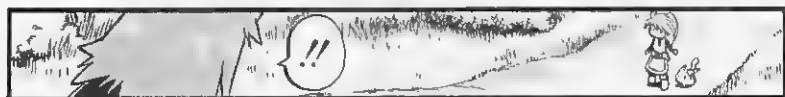
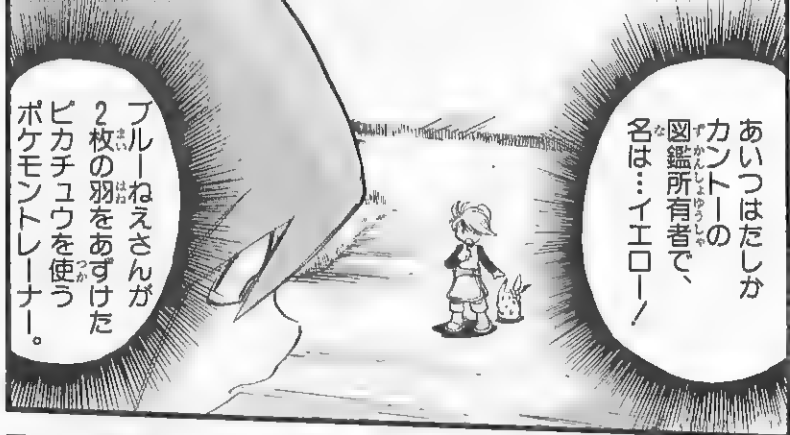
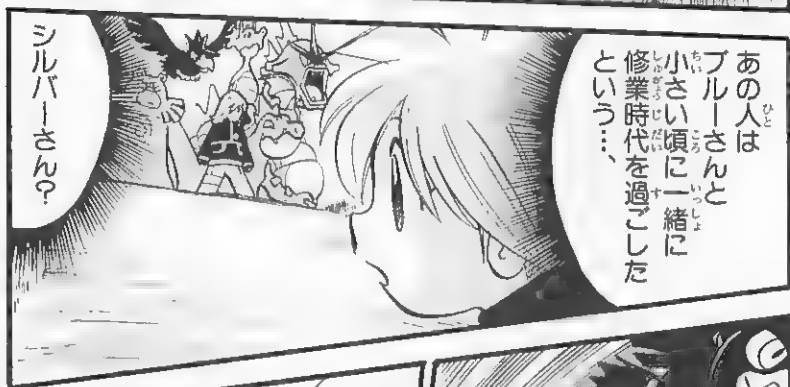
!!

グリーンさん…、この先代ジムリーダー像をずっと処分せず取っているんだな。
先代のジムリーダーがここを去って、一度は無人ジムになって。
その後新ジムリーダー試験をレッドさんが受けて…。
でも就任したのはグリーンさんで…、
あれからもうずいぶんたつんだな…。
トキワジム
閉鎖中

ピッ

さあ、チュチュ元気お出しよ。
ポン
しかたないよ、相手はグリーンさんのポケモンだもの。

残念だけど、また来ようよ。
たぶんオーキド博士のところで大事な用があって、戻ってくるのが遅くなっているんだよ。

誰か来た。ジムの挑戦者かな？

いや！何か見覚えがある!!
ええと、ええと。

ここが、
トキワか……。

!!

あの人は!!
あいつは!!

あの人は ブルーさんと 小さい頃に一緒に 修業時代を過ごした という…、

シルバーさん？

なぜ ここにいる？

え？

なぜ…って、もともと トキワ出身 ですから…。

!!

ブルーねえさんがくれた、図鑑所有者たちの個人データ…。
ピッ

そうだった。出身地はトキワ。
通称「トキワの森のイエロー」。
そして、

年上…。
じ〜っ
?
14歳
13歳

シルバーさんはどうしてここへ?
……、オレがここへ来た理由か?
TOKIWA CI
GYM

自分のルーツ探し…さ。

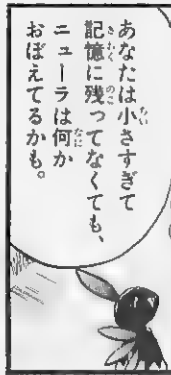
自分のルーツ探し?
ああ。

オレは自分がどこで生まれたのか、親が誰なのかもまったく知らない。

それをつきとめるヒントがここ、トキワにあるのでは…と考え、

来た。

ねえさんの幸せは見とどけることができた。

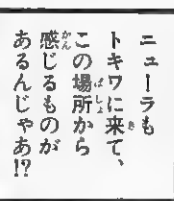
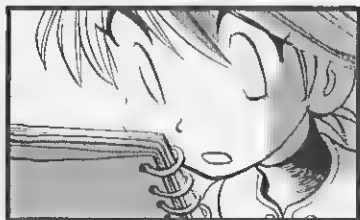
次はオレも……。

ワタルさんに。

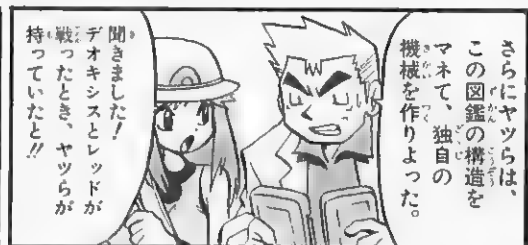
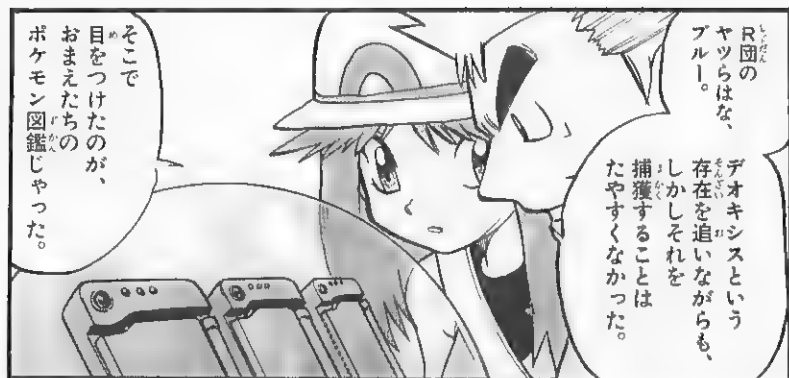
おそらくニューラも心に傷を負い、記憶をしまいこんでしまってるのだろう。
連れ去られた日以前のことは、ワタルさんでも読みとれなかった。

そうだったんですか……。

でもシルバーさん!! 少しずつだけどニューラから今反応がありますよ!!
なに!?

ニューラもトキワに来て、この場所から感じるものがあるんじゃあ!?
しまいこまれてた記憶が開きつつあるんじゃあ!?

ニューラ、少しだけ気持ちをこっちに向けていてね。
今、キミの心の中にあるものを描きとめるから。
サラ
サラ
……………!
どうした?
だっ!!
ハァ
ハァ
どうして…。
ハァ
どうしてなんだろう?
なぜ、ニューラの心の中に浮かんだものが、

この、先代ジムリーダー像なの!?

わらわら
わらわら
奪われた3つの図鑑はこのトレーナータワーの中、おそらくこのフロアの研究室にあるはずじゃ!!
追いつかれる!
デオキシス分裂体たちに!!
まかせて!
このせまい廊下だったら!!

お手のものよ!!
ボヨョン
ここじゃ!!
研究室
おみごと!
あった!!

R団のヤツらはな、ブルー。
デオキシスという存在を追いながらも、しかしそれを捕獲することはたやすくなかった。
そこで目をつけたのが、おまえたちのポケモン図鑑じゃった。

特別なトレーナーたちの冒険の記録、ポケモンバトルの記録がつめこまれた夢の箱なんだなー。

図鑑の中のデータ!おまえたちの戦いの記録じゃ!!
ウィィィ…
そのデータから、デオキシス捕獲の方法を探り出そうとしたのじゃろう!

わしを襲い3つの図鑑を奪った狙い、
カチャ
カチャ
それは…。

さらにヤツらは、この図鑑の構造をマネて、独自の機械を作りよった。
聞きました!デオキシスとレッドが戦ったとき、ヤツらが持っていたと!!

まるで「黒い図鑑」とでもいうような不気味な機械を…!

しかしここからはわしらの反撃じゃぞ!!

ブルー、白衣のはしを押さえていてくれ！

これは…、

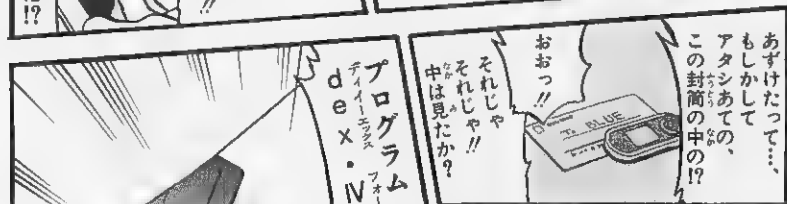
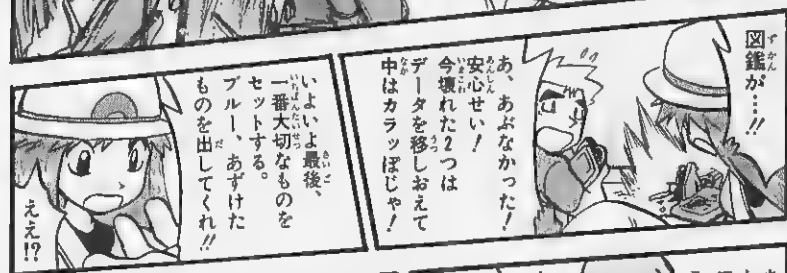
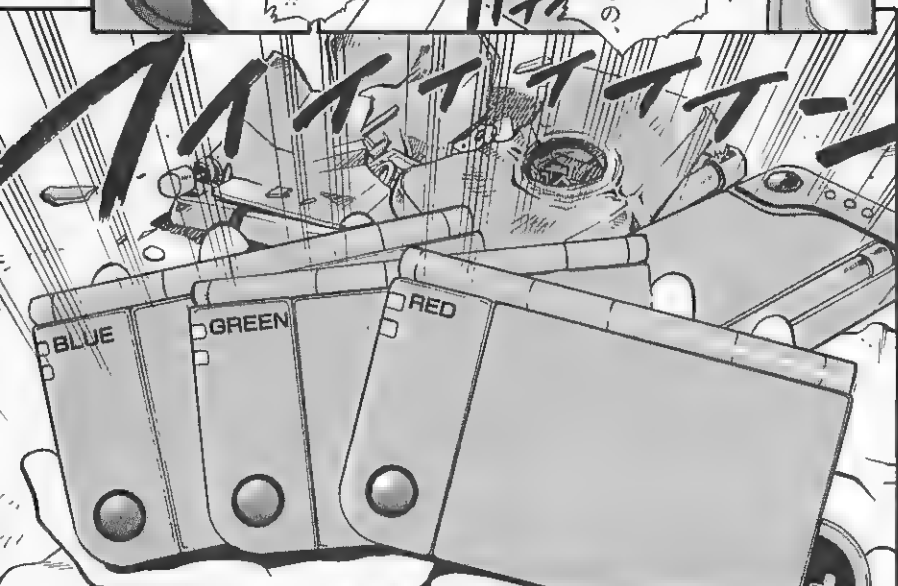
新しいポケモン図鑑!?

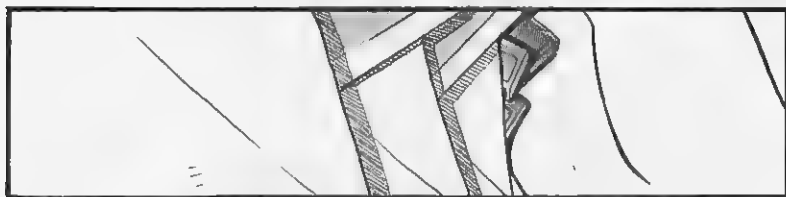
あわてるなこれだけではただの箱じゃ！

今この場で、旧図鑑からデータを移しかえる！

ウウウウ
ぷいいい!!
いかん!!
こらえてくれブルー!
データ移動にまだ時間がかかる!!
まかせてください、博士!!

あっ!!
びゅっ
図鑑が……!!
あ、あぶなかった!
安心せい!
今壊れた2つは
データを移しおえて
中はカラッぽじゃ!
いよいよ最後、
一番大切なものを
セットする。
ブルー、あずけた
ものを出してくれ!!
ええ!?
あずけたって…、
もしかして
アタシあての、
この封筒の中の!?
おおっ!!
それじゃ
それじゃ!!
中は見たか?
To BLUE
はい、
何かチップの
ようなものが
3つ。
まさしく!
プログラム
dex・Ⅳ!!

この新図鑑バージョンアップのための、
最重要パーツじゃ!!
パチッ
パッ
スイイイイイーン
BLUE
GREEN
RED
図鑑バージョンアップのための重要パーツ…、そんな大事なものをどうしてアタシに?
それはの…、
おまえが3人の中で一番、
ずるがしこいからじゃ!!
………。
血の気が多い男2人にあずけたら、なんのはずみで敵にバレるかもしれんからな。機転のきくおまえなら、きっと守ってくれると信じとったよ!

あの日、ロケット団との取り引きに応じながらしかし、絶対に…絶対に奪われたくなかったのが、このパーツじゃった。
グイ

だからわしはレッド、グリーンへの封筒で敵の目をあざむきつつ…。
To RED

アタシの封筒にチップを隠した…!
一度わしの手から離しておいたほうが、存在を知られずにすむと思ったんじゃ。
全国版となった図鑑は、ヤツらさえまだ見ぬ未知のポケモンに対応している。
そのデータが奪われたら、また新たな事件の火ダネとなるほどの強大なポケモンもいるんじゃ!!

ギュウウウウン!!
む!無事起動したぞ!!

カッ

バージョンアップ完了!!

ポケモン図鑑最新版、完成じゃ!!!

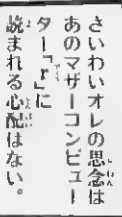
すま…ない、レッド…。

オレさえ、フルパワーを出せれば…。

ぐ…!

ミュウツー!!

ギャッハハッハハー、パワーヲ出ソウトスルトM2バインハドンドンミュウツーヲシメアゲルヨ!!!

そんなことわかってる!!
でも、どうすれば…。

考えがある……。

おまえたちのポケモンの技で、この拘束具を破壊するのだ。

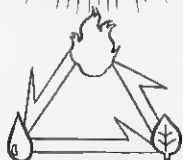
バ、バカな…!!

「R」が何度も言ってたじゃないか!! ポケモンの技では破ることができないって!!

冗談じゃない! 死ぬ気か!?

よく聞け!

オレにはダメージをあたえず、
拘束具だけを破壊する方法があると言ってるんだ。

な…ん…だって？
ポケモンのタイプで考えてみろ、炎に強いのは？
水。
水に強いのは？
草。
草に強いのは？
炎。
そう。3つのタイプは「三すくみ」、たがいを打ち消し合う存在だ。

…しかし!!
もちろん危険だ。
タイミングや角度が
わずかでもズレれば、
究極技はオレをつらぬく
無謀なカケだ。

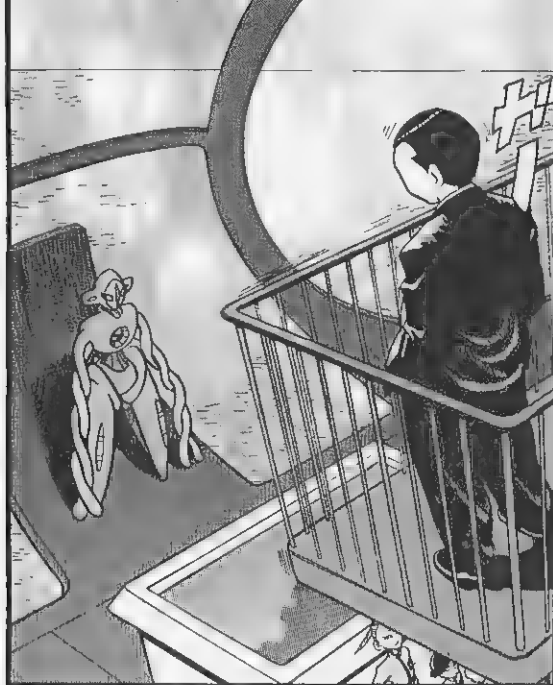
だが
このままでは
いずれ……。

…よし。

やろう。

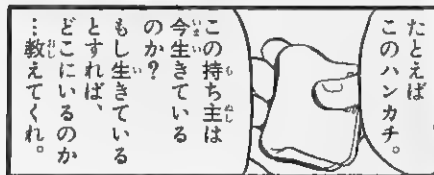
ただし
ミュウツー。
この作戦は
おまえとともに
この分裂体たちを
一掃し、
ここを去った
デオキシス本体を
追うためにやる!!

どういうことだ!?
レッド!!
デオキシス本体が
ここにいないと
なぜわかる!?

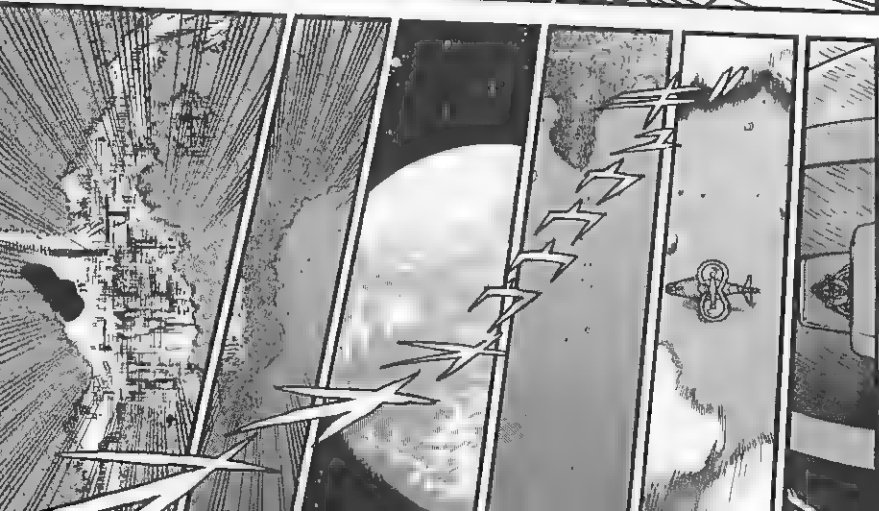
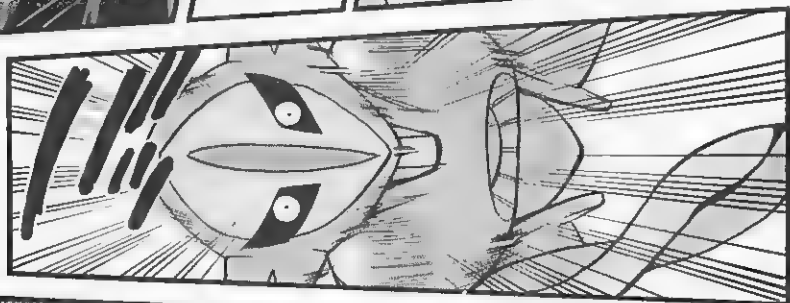
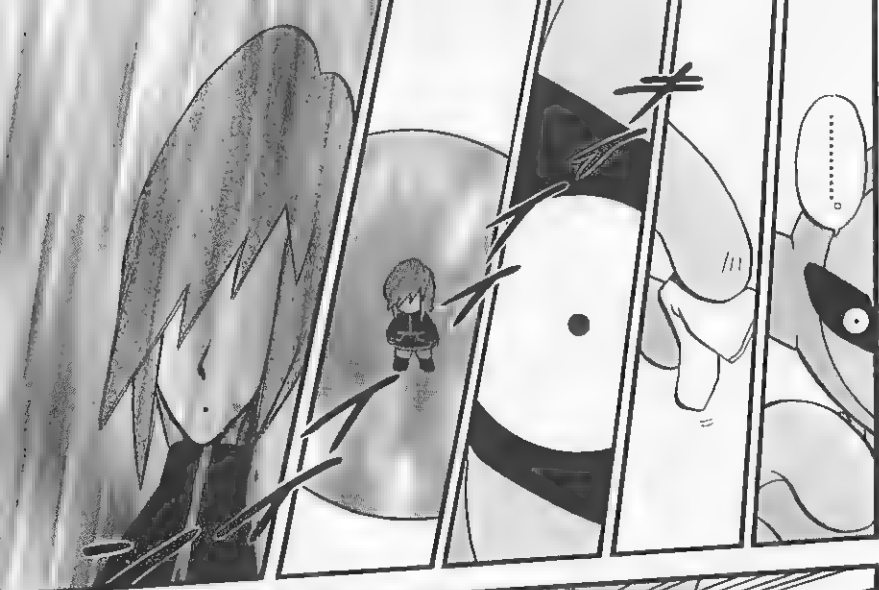
わかるんだ。
ヤツが現れる直前に
感じたあの感覚…、
胸の奥からつき上げる
あの感覚を、
ここでは感じない。

オレたちを分裂体と「r」で足止めしてる間に、
デオキシスは!!

ンフフフ、おかえりなさい首領。
ごくろうだったサキ、チャクラオウカ。

個体・弐。

さっそくおまえの能力を見せてくれないか?
たとえばこのハンカチ。
この持ち主は今生きているのか?もし生きているとすれば、どこにいるのか…教えてくれ。

目標カントー地方!!

トキワシティに進路を取れ!!

〈ポケットモンスタースペシャル第24巻おわり／第25巻へつづく〉

次巻予告！
拘束具を破れ！
草・水・炎!!
3つの究極技を
合わせ撃つ
決死の大作戦!! そして…
知らされる事実！
トキワの森で始まる
もうひとつの戦い!!!
お迎えにあがりました
『あなたの父君ですよ
シルバー様。』

出現する頂上決戦の舞台!!!
ロケット団の戦闘飛空艇が……
空中闘技場に!!
さあ、おりてこいチャンピオン
ポケットモンスターSPECIAL第25巻!
今、交差する運命に真実の決着を!!!

てんとう虫コミックススペシャル　「小学四年生」連載作品

# ポケットモンスタースペシャル 24

2007年2月25日　初版　第1刷発行　(検印廃止)

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ
©2007 Pokémon
©1995-2007 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
発行者　黒川和彦
印刷所　三晃印刷株式会社
PRINTED IN JAPAN

発行所　(〒101-8001)東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集03(3230)5406
販売03(5281)3556
株式会社 小学館



ISBN978-4-09-140318-6



編集／齋藤 慎　編集協力／長澤優美子・笠原 宙（十八VAN PLANNING）
本文デザイン／瀬川真由美・高野 册

敗北と挫折！　圧倒的な力の前に倒れたレッドは
再び立ち上がることができるのか!?
一方、誕生の島に戻ったデオキシスは
サカキの手により、完全覚醒の時をむかえる！
いでんしポケモン・ミュウツーも参戦する
極限の攻防が、今、スタート!!!

# ポケットモンスター SPECIAL 24

第280話

第281話

第282話

第283話

第284話

第285話

第286話

第287話

ISBN978-4-09-140318-6

C9979 ¥438E

定価：本体438円＋税

雑誌 45213-18　　小学館

敗北と挫折！ 圧倒的な力の前に倒れたレッドは再び立ち上がることができるのか!?
一方、誕生の島に戻ったデオキシスはサカキの手により、完全覚醒の時をむかえる！
いでんしポケモン・ミュウツーも参戦する極限の攻防が、今、スタート!!!